# PATENT COOPERATION TREATY

	ı

# **NOTIFICATION OF ELECTION**

(PCT Rule 61.2)

# From the INTERNATIONAL BUREAU

To:

Commissioner
US Department of Commerce
United States Patent and Trademark
Office, PCT
2011 South Clark Place Room
CP2/5C24
Arlington, VA 22202
FTATS-UNIS D'AMERIQUE

O3 November 2000 (03.11.00)	in its capacity as elected Office		
International application No. PCT/JP00/01802	Applicant's or agent's file reference 00-011-PCT		
International filing date (day/month/year) 24 March 2000 (24.03.00)	Priority date (day/month/year) 26 March 1999 (26.03.99)		
Applicant			
ITO, Makoto			

1.	The designated Office is hereby notified of its election made:
	X in the demand filed with the International Preliminary Examining Authority on:
	17 August 2000 (17.08.00)
	in a notice effecting later election filed with the International Bureau on:
2.	The election X was
:	was not
	made before the expiration of 19 months from the priority date or, where Rule 32 applies, within the time limit under Rule 32.2(b).

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland Authorized officer

Kiwa Mpay

Telephone No.: (41-22) 338.83.38

Facsimile No.: (41-22) 740.14.35

EP · US

PCT

# 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 00-011-PCT	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP00/01802	国際出願日 (日.月.年) 24.03.00 <b>優先日</b> (日.月.年) 26.03.99
出願人(氏名又は名称)	寶酒造株式会社
国際調査機関が作成したこの国際調金の写しは国際事務局にも送付される	
   この国際調査報告は、全部で <u>4</u>	ページである。
この調査報告に引用された先行	支術文献の写しも添付されている。
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除 この国際調査機関に提出さ	くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 れた国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。
b. この国際出願は、ヌクレオチ □ この国際出願に含まれる書	ド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。 面による配列表
·	れたフレキシブルディスクによる配列表
	関に提出された書面による配列表
□ 出願後に、この国際調査機 □ 出願後に提出した書面によ 書の提出があった。	関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表 る配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述
X 書面による配列表に記載し   書の提出があった。	た配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述
2. 🗓 請求の範囲の一部の調査	ができない(第I欄参照)。
3.	いる(第Ⅱ欄参照)。
4. 発明の名称は、 X 出	願人が提出したものを承認する。
□ 次	に示すように国際調査機関が作成した。
10.2.	願人が提出したものを承認する。
	Ⅲ椒に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ 国際調査機関に意見を提出することができる。
6. 要約費とともに公表される図は 第図とする。 U	、 願人が示したとおりである。
_ ±	願人は図を示さなかった。
*	図は発明の特徴を一層よく表している。

31 444 - 4	請求の範囲の一部の調査ができないときの意見(第1ページの2の続き)
	条第3項 (PCT17条(2)(a)) の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作
成しなか	かった。
1. X	請求の範囲 20 は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。
	つまり、
	請求の範囲20は、人の身体の治療による処置方法であるから、 この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。
	この国际調査機関が調査をすることを安しない対象に係るものである。
	は 大会会も国際領本とよるとしばった。 ない、大会会も国際領本とよるとしばった。 ないでは、大会会も、国際領本とよるとはった。 ないでは、大会会も、国際領本とよるとしばった。 ないでは、大会会も、国際領本とよるとしばった。 ないでは、大会会と、国際領本とよるとしばった。 ないでは、大会会と、国際領本とよるとしばった。 ないでは、大会会と、国際領本とよるとしばった。 ないでは、大会会と、国際領本とよると、日本のは、国際領本とは、日本のは、国際領本とは、日本のは、国際領本とは、日本のは、国際領本とは、日本のは、国際のは、国際のは、国際のは、国際のは、国際のは、国際のは、国際のは、国際
2. 📙	請求の範囲 は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
	。 A 国外国族(小型) (一) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
3.	請求の範囲は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に
_	従って記載されていない。
第Ⅱ欄	発明の単一性が欠如しているときの意見(第1ページの3の続き)
次に立	性べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
	·
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1.	出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求
1.	出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求 の範囲について作成した。
1.	
1.	の範囲について作成した。
	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 加調査手数料の納付を求めなかった。
1.	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 加調査手数料の納付を求めなかった。
	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
3.	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追 加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納
3.	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載
3.	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載
3.   4.	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。
3.   4.	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。
3.   4.	の範囲について作成した。 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。

#### 国際調査

# 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

C12N9/80, C12N15/55, C12N15/63, C12N1/21, C12N5/10, C12P21/02, C12Q1/68, C12Q1/34, C07K16/40, Int. Cl. 7 G01N33/53

# 調査を行った分野

# 調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

C12N9/80, C12N15/55, C12N15/63, C12N1/21, C12N5/10, C12P21/02, C12Q1/68, C12Q1/34, C07K16/40, Int. Cl. 7 G01N33/53

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) BIOSIS (DIALOG), WPI (DIALOG), Genbank/EMBL/DDBJ/GeneSeq

C. 関連すると認められる文献				
引用文献の	, in the second	関連する		
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号		
Р, Х	BAWAB, S. E. et al. "Purification and characterization of a membrane-bound nonlysosomal ceramidase from rat brain", J. Biol. Chem. (9月.1999) 第274巻,第39号 p. 27948-27955	1-19		
P, X	TANI, M. et al. "Specific and sensitive assay for alkaline and neutral ceramidases involving C12-NBD-ceramide", J. Biochem. (4月.1999) 第125巻,第4号 p.746-749	1-19		

## X C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

- \* 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって て出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理 論の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査報告の発送日 国際調査を完了した日 04.07.00 16.06.00 9735 特許庁審査官(権限のある職員) 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 六笠 紀子 郵便番号100-8915 電話番号 03-3581-1101 内線 3448 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

	国際調食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
C (続き). 引用文献の	関連すると認められる文献	関連する
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
Y	YADA, Y. et al. "Purification and biochemical characterization of membrane-bound epidermal ceramidases from guinea pig skin", J. Biol. Chem. (1995) 第270巻, 第21号 p. 12677-12684  NIKOLOVA-KARAKASHIAN, M. et al, "Bimodal regulation of	1-19 1-19
• •	ceramidase by interleukin-1β", J. Biol. Chem. (1997) 第272巻,第30号 p. 18718-18724	
Y	HUWILER, A. et al, "Nitric oxide donors induce stress signaling via ceramide formation in rat renal mesangial cells", J. Biol. Chem. (12日.3月.1999) 第274巻,第11号 p.7190-7195	1-19
A	JP, 10-257884, A (寶酒造株式会社) 29. 9月. 1998 (29. 09. 98) パテントファミリー無し	1-19
·		
•		
,		

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/01802

A CIAC	SIFICATION OF SUBJECT MATTER	<del></del>		
	$\cdot$ Cl <sup>2</sup> Cl2N9/80, Cl2N15/55, Cl	2N15/63 C12N1/23 C12N-	/10	
	.Cl <sup>7</sup> Cl2N9/80, Cl2N15/55, Cl Ql/68, Cl2Ql/34, C07Kl6/40, G01		/10, Cl2P21/02,	
l		•		
	to International Patent Classification (IPC) or to both	national classification and IPC	;	
B. FIELD	S SEARCHED			
Minimum d	locumentation searched (classification system follows	ed by classification symbols)		
Int	.Cl' C12N9/80, C12N15/55, C12	2N15/63, C12N1/21, C12N5	/10, C12P21/02.	
C120	Q1/68, C12Q1/34, C07K16/40, G01	N33/53	-, - <b>-,</b>	
Documenta	tion searched other than minimum documentation to t	the extent that such documents are included	in the fields searched	
Electronic o	data base consulted during the international search (na	me of data base and, where practicable, sea	rch terms used)	
BIOS	SIS(DIALOG),WPI(DIALOG),Genbank	/EMBL/DDBJ/GeneSeq		
C. DOCU	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT			
Category*	Citation of document, with indication, where		Relevant to claim No.	
P,X	BAWAB, S. E. et al., "Purificat	tion and characterization	1-19	
	of a membrane-bound nonlysoso	mal ceramidase from rat		
	brain", J. Biol. Chem. (Septemb pp.27948-27955	er, 1999, Vol.274, No.39,		
	FF	·		
P,X	TANI, M. et al., "Specific and ser	nsitive assay for alkaline	1-19	
	and neutral ceramidases involv	ring C12-NBD-ceramide"	7-19	
	J. Biochem. (April, 1999), Vol	125, No.4, pp.746-749	l	
Y				
ĭ	YADA, Y.et al., "Purificat	ion and biochemical	1-19	
	characterization of membrane-bo	Chem (1995) Well 222		
	from guinea pig skin", J. Biol. Chem. (1995), Vol.270, No.21, pp.12677-12684			
	-, <u>FF</u> , <b>4800</b> 1			
Y	NIKOLOVA-KARAKASHIAN, M. et al	, "Bimodal regulation of	1-19	
	ceramidase by interleukin-16",	J. Biol. Chem. (1997)		
	Vol.272, No.30, pp.18718-18724		ļ	
Y	HIWILER A et al unitain	do domene du de		
•	HUWILER, A. et al, "Nitric oxi signaling via ceramide formation	de donors induce stress	1-19	
	cells", J. Biol. Chem. (12 March	1. 1999). Vol 274 No 11		
	pp.7190-7195	-,, , , , , , , , , , , , , , , ,		
Further	documents are listed in the continuation of Box C.	See material facilities		
		See patent family annex.		
Opeciai	categories of cited documents: nt defining the general state of the art which is not	"T" later document published after the inter	national filing date or	
consider	ed to be of particular relevance	priority date and not in conflict with the understand the principle or theory under	rlying the invention	
"E" earlier d	ocument but published on or after the international filing	"X" document of particular relevance; the cl	aimed invention cannot be	
"L" docume	nt which may throw doubts on priority claim(s) or which is	considered novel or cannot be considered step when the document is taken alone	ed to involve an inventive	
cited to establish the publication date of another citation or other "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be			aimed invention cannot be	
special reason (as specified)  O'  document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other  considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such				
means combination being obvious to a person skilled in the art			skilled in the art	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "&" document member of the same patent family				
Date of the actual completion of the international search  Date of mailing of the international search report				
16 June, 2000 (16.06.00) 04 July, 2000 (04.07.00)				
			- 1	
Name and ma	niling address of the ISA/	Authorized officer		
Japar	nese Patent Office	Authorized officer	j	
Facsimile No.		Telephone No.	Ī	

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP00/01802

ategory*	tion). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT  Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant		
		un passages	Relevant to claim N
A	JP, 10-257884, A (Takara Shuzo Co., Ltd.), 29 September, 1998 (29.09.98), (Family: none)		1-19
			`
		_	

# Translation

# PATENT COOPERATION TREATY PCT

# INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Article 36 and Rule 70)

pplicant's or agent's file reference 00-011-PCT  FOR FURTHER ACTION SeeNotificationofTransmittalofInternational Pre Examination Report (Form PCT/IPEA/416)					
International application No.	International filing date (day	nal filing date (day/month/year) Priority date (day/month/year)			
PCT/JP00/01802 24 March 2		.03.00)	26 March 1999 (26.03.99)		
	International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC C12N 9/80, 15/55, 15/63, 1/21, 5/10, C12P 21/02, C12Q 1/68, 1/34, C07K 16/40, G01N 33/53				
Applicant	TAKARA SHUZO C	O., LTD.			
and is transmitted to the applicant ac  2. This REPORT consists of a total of  This report is also accompanies amended and are the bas Rule 70.16 and Section 607 of	and is transmitted to the applicant according to Article 36.				
3. This report contains indications relating to the following items:  I Basis of the report  II Priority  Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability  IV Lack of unity of invention  V Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement  VI Certain documents cited  VII Certain defects in the international application  VIII Certain observations on the international application					
Date of submission of the demand  17 August 2000 (17.08		f completion of	april 2001 (16.04.2001)		
Name and mailing address of the IPEA/JP	Name and mailing address of the IPEA/JP  Authorized officer				
Facsimile No.		Telephone No.			

# INTERNATIONAL PRE

# NARY EXAMINATION REPORT

Inter	national application No.	
	PCT/JP00/01802	_

1. Das	ois of the report	
1. Wit	th regard to the elements of the international application:*	
	the international application as originally filed	
	the description:	
	pages	, as originally filed
		, filed with the demand
	pages , filed with the letter of	·
	the claims:	
	<b>,</b>	
	pages	, as originally filed
	pages, as amended (together wit	
	pages	
l _	pages, filed with the letter of	
╽╚	the drawings:	
	pages	, as originally filed
	pages	
	pages, filed with the letter of	
П	the sequence listing part of the description:	i
		,, ,, ,
	pages, filed with the letter of	
the	th regard to the language, all the elements marked above were available or furnished to this Au international application was filed, unless otherwise indicated under this item.  Esse elements were available or furnished to this Authority in the following language	nthority in the language in which which is:
	the language of a translation furnished for the purposes of international search (under Rule 2	3.1(b)).
	the language of publication of the international application (under Rule 48.3(b)).	
	the language of the translation furnished for the purposes of international preliminary examor 55.3).	mination (under Rule 55.2 and/
3. Wit	th regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international liminary examination was carried out on the basis of the sequence listing:	application, the international
	contained in the international application in written form.	
$\boxtimes$	filed together with the international application in computer readable form.	
	furnished subsequently to this Authority in written form.	
	furnished subsequently to this Authority in computer readable form.	
	The statement that the subsequently furnished written sequence listing does not go international application as filed has been furnished.	beyond the disclosure in the
$\boxtimes$	The statement that the information recorded in computer readable form is identical to the been furnished.	ne written sequence listing has
4.	The amendments have resulted in the cancellation of:	
	the description, pages	
	the claims, Nos.	
	the drawings, sheets/fig	
5.	This report has been established as if (some of) the amendments had not been made, since the beyond the disclosure as filed, as indicated in the Supplemental Box (Rule 70.2(c)).**	ney have been considered to go
in in	acement sheets which have been furnished to the receiving Office in response to an invitation vais report as "originally filed" and are not annexed to this report since they do not con 70.17).	under Article 14 are referred to stain amendments (Rule 70.16
	replacement sheet containing such amendments must be referred to under item 1 and annexed to	o this report.

# INTERNATIONAL PREI

# NARY EXAMINATION REPORT

Internat	ional application No.	
	PCT/JP00/01802	

III. Non-e	establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicabil	lity
1. The qui industr	uestions whether the claimed invention appears to be novel, to involve an inventive sterially applicable have not been examined in respect of:	ep (to be non obvious), or to be
	the entire international application.	
$\boxtimes$	claims Nos. 20	
because	e:	
$\boxtimes$	the said international application, or the said claims Nos. 20 relate to the following subject matter which does not require an international preliminary e	examination (specify):
Se	ee supplemental sheet for continuation of Box	
		11
	the description, claims or drawings (indicate particular elements below) or said claims Nos are so unclear that no meaningful opinion could be formed (specify):	s
	are so another meaning an opinion could be formed (specify).	
	the claims, or said claims Nos.  by the description that no meaningful opinion could be formed.	_ are so inadequately supported
$\boxtimes$	no international search report has been established for said claims Nos.	20 .
	ingful international preliminary examination cannot be carried out due to the failure of the listing to comply with the standard provided for in Annex C of the Administrative Instruction	
	the written form has not been furnished or does not comply with the standard.	
	the computer readable form has not been furnished or does not comply with the standard.	

# INTERNATIONAL PRELECTIONARY EXAMINATION REPORT

International application No.

/JP 00/01802

Supplemental B	OX	
----------------	----	--

(To be used when the space in any of the preceding boxes is not sufficient)

Continuation of: III. 1.

Claim 20 describes a method for treatment of the human body by therapy.  $\label{eq:claim}$ 

### INTERNATIONAL PRE INARY EXAMINATION REPORT

International	application No.
:/JP	00/01802

V.	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability citations and explanations supporting such statement

	porting such statement		•,
Statement			
Novelty (N)	Claims	1-19	YES
	Claims		NO
Inventive step (IS)	Claims		YES
	Claims	1-19	NO
Industrial applicability (IA)	Claims	1-19	YES
	Claims		NO
Citations and explanations			

#### 2. Citations and explanations

Document 1: Y. Yada et al., "Purification and biochemical characterization of membrane-bound ceramidases from guinea pig skin", J. Biol. Chem. (1995), Vol. 270, No. 21. 12677-12684

Document 2: M. Nikolova-Karakashian et al., "Bimodal regulation of ceramidase by interleukin-1 $\beta''$ , J. Biol. Chem. (1997), Vol. 272, No. 30, pp. 18718-18724

Document 1 discloses the isolation and purification of ceramidase from guinea pig skin with an optimum pH of 7.0-10.0.

Document 2 discloses detection of acid and neutral ceramidase activity in rat liver after adding interleukin-1β.

Documents 1 and 2 disclose mammalian ceramidase with an optimum pH in the neutral or alkaline range, and Document 2 discloses the presence of a neutral ceramidase in rodent liver. Therefore, a person skilled in the art could easily conceive of isolating and purifying a ceramidase as disclosed in Document 1 starting from rodent liver, determining a partial amino acid sequence, constructing a probe using the sequence thus determined, and screening genes.

# INTERNATIONAL PREMINARY EXAMINATION REPORT

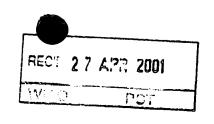
A person skilled in the art could also incorporate a resulting gene into a suitable vector and express the protein by transforming a host, create antibodies against the expressed protein and create antisense DNA from the gene sequence.

Therefore, the inventions described in Claims 1-19 could easily be invented by a person skilled in the art from Documents 1 and 2.

PCT

# 国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]



14

田願人又は代理人 「今後の手続きについては、国際予備審査報告の迭付通知(様式PCT/の書類記号 00-011-PCT 「PEA/416)を参照すること。								
国際出願番号 PCT/JP00/01802 国際出願日 (日.月.年) 24.03.00 優先日 (日.月.年) 26.03.99								
国際特許分類 (IPC) Int.Cl <sup>7</sup> C 1 2 N 9 / 8 0, C 1 2 N 1 5 / 5 5, C 1 2 N 1 5 / 6 3, C 1 2 N 1 / 2 1, C 1 2 N 5 / 1 0, C 1 2 P 2 1 / 0 2, C 1 2 Q 1 / 6 8, C 1 2 Q 1 / 3 4, C 0 7 K 1 6 / 4 0, G 0 1 N 3 3 / 5 3								
出願人(氏名又は名称) <b>寶</b> 酒造株式会社								
2. この国際予備審査報告は、この表紙 この国際予備審査報告には、M	国際予備審査報告を法施行規則第57条(P C 紙を含めて全部で 4 ペーシ	<sup>ど</sup> からなる。 『嘘とされた及び/又はこ						
査機関に対してした訂正を含む (PCT規則70.16及びPCT この附属書類は、全部で		けされている。						
l 図際予備審査報告の基礎 II 優先権	1 区 国際予備審査報告の基礎							
IV	V × PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるため							
VI								
国際予備審査の請求書を受理した日 17.08.00	国際予備審査報告を作	F成した日 16.04.01						
名称及びあて先	特許庁審査官(権限の	)ある職員) 4	4B 9735					

六笠

紀子

電話番号 03-3581-1101 内線

3 4 4 8

日本国特許庁 (IPEA/JP)

郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

国際予備審査報告		国際出願番号 PCT/JP00/01802
1. 国際予備審査報告の基礎		
応答するために提出された差し替え用紙は PCT規則70.16,70.17)		れた。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に おいて「出願時」とし、本報告書には添付しない。
<ul><li>× 出願時の国際出願書類</li><li>明細書 第</li><li>明細書 第</li><li>明細書 第</li></ul>	ページ、 ページ、 ページ、	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 付の書簡と共に提出されたもの
請求の範囲 第 請求の範囲 第 請求の範囲 第 請求の範囲 第 図面 第 図面 第	項、 項、 項、 	
明細書の配列表の部分 第 明細書の配列表の部分 第 明細書の配列表の部分 第 明細書の配列表の部分 第 2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合	ページ、 ページ、 ページ、 ^*を除くほか、こ	出願時に提出されたもの 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの 一一付の書簡と共に提出されたもの の国際出願の言語である。
上記の書類は、下記の言語である 国際調査のために提出されたPCT PCT規則48.3(b)にいう国際公開の 国際予備審査のために提出されたPC	規則23.1(b)にい o言語	う翻訳文の言語
□ この国際出願に含まれる書面による記念 この国際出願と共に提出されたフレー 出願後に、この国際予備審査(また 日 出願後に、この国際予備審査(また日 出願後に提出した書面による配列表示書の提出があった	配列表 キシブルディスク は調査)機関に損 は調査)機関に損 が出願時における	
4. 補正により、下記の書類が削除された。 明細書 第 請求の範囲 第 図面 図面の第	ページ 項 ペー	ジ/図

5. □ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1. における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)



国際出願番号 PCT/JP00/01802

Ш.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
1.	次に関して、当該請求の範囲に記載されている発明の新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につき、次の理由により 審査しない。
	国際出願全体
	※ 請求の範囲 20
理:	<b>由</b> :
	この国際出願又は請求の範囲 20 は、国際予備審査をすることを要しない 次の事項を内容としている(具体的に記載すること)。 人の身体の治療による処置方法
	明細書、請求の範囲若しくは図面(次に示す部分)又は請求の範囲の 記載が、不明確であるため、見解を示すことができない(具体的に記載すること)。
	全部の請求の範囲又は請求の範囲が、明細書による十分な 裏付けを欠くため、見解を示すことができない。
$\boxtimes$	請求の範囲20 について、国際調査報告が作成されていない。
2.	ヌクレオチド又はアミノ酸の配列表が実施細則の附属書C(塩基配列又はアミノ酸配列を含む明細書等の作成のためのガイドライン)に定める基準を満たしていないので、有効な国際予備審査をすることができない。
	■ 書面による配列表が提出されていない又は所定の基準を満たしていない。
	□ フレキシブルディスクによる配列表が提出されていない又は所定の基準を満たしていない。

			(2) / V	B 23. TA 11					N 133 ' J		. / )	. 00/	010	0 2	
v.		性、進歩性 及び説明	又は産業」	この利用可能	を性につい	ハての法第:	2条	е (РСТ	3 5	条(2))	に定め	りる見解	、それ	を裏付ける	- خ
1.	見解														
	新規性	(N)				請求の 請求の				1 -	19			有 無	
	進歩性	(IS)				請求の 請求の				1 -	-19		-	有 無	
	産業上の	の利用可能	性(IA)			請求の	色囲			1 -	-19			有	

請求の範囲

#### 2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1: YADA, Y. et al. "Purification and biochemical characterization of membrane-bound epidermal ceramidases from guinea pig skin",

J. Biol. Chem. (1995) Vol. 270, No. 21, p. 12677-12684

文献 2: NIKOLOVA-KARAKASHIAN, M et al. "Bimodal regulation of ceramidase by interleukin-1β", J. Biol. Chem. (1997) Vol. 272, No. 30, p. 18718-18724

文献1には、モルモット皮膚からpH7.0~10.0に至適pHを持つセラミダ ーゼを単離精製したことが記載されている。 文献 2 には、インターロイキンー 1 β を添加することでラット肝臓に酸性及び中性

のセラミダーゼ活性が検出されることが記載されている。

こで文献1や2には中性乃至アルカリ性を至適 p Hにもつ哺乳類のセラミダーゼ が記載されており、文献2には齧歯類の肝臓に中性セラミダーゼが存在することが記 載されているから、齧歯類の肝臓を原料として引用文献1に記載されたようにセラミダーゼを単離精製し、部分アミノ酸配列を決定すること、こうして決定した配列をもとにプローブを作製し、遺伝子をスクリーニングすることは当業者が容易に想到し得 たものと認める。

また、このようにして得られた遺伝子を適当なベクターに組み込んで宿主を形質転 換して蛋白質を発現すること、発現した蛋白質に対する抗体を作製すること、遺伝子 配列をもとにアンチセンスDNAを作製することは当業者が周知の手法を用いて適宜 なし得たことである。

従って、請求の範囲1乃至19に係る発明は文献1及び2の記載に基づいて当業者 が容易になし得たものと認める。

# **PCT**

# 世界知的所有権機関 事 務 局 k約に基づいて公開された国



(51) 国際特許分類7

C12N 9/80, 15/55, 15/63, 1/21, 5/10, C12P 21/02, C12Q 1/68, 1/34, C07K 16/40, G01N 33/53

(11) 国際公開番号 A1

WO00/58448

(43) 国際公開日

2000年10月5日(05.10.00)

(21) 国際出願番号

PCT/JP00/01802

(22) 国際出願日

2000年3月24日(24.03.00)

(30) 優先権データ

特願平11/84743

1999年3月26日(26.03.99)

(71) 出願人(米国を除くすべての指定国について) 資酒造株式会社(TAKARA SHUZO CO., LTD.)[JP/JP] 〒612-8061 京都府京都市伏見区竹中町609番地 Kyoto, (JP)

(72) 発明者;および

(75) 発明者/出願人(米国についてのみ)

伊東 信(ITO, Makoto)[JP/JP]

〒819-0013 福岡県福岡市西区愛宕浜四丁目34-1 Fukuoka, (JP)

(74) 代理人

弁理士 細田芳徳(HOSODA, Yoshinori)

〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町二丁目8番1号 大手前M2ビル 細田国際特許事務所内 Osaka, (JP)

(81) 指定国 AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), ARIPO特許 (GH, GM, KE, LS, MW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM)

添付公開書類

国際調査報告書

(54) Title: CERAMIDASE GENE

(54)発明の名称 セラミダーゼ遺伝子

### (57) Abstract

A neutral/alkaline ceramidase originating in a mammal; an antibody binding specifically thereto; a gene encoding this ceramidase; a probe and a primer hybridizable specifically therewith; a genetic engineering process for producing the ceramidase; a method for detecting the ceramidase or its gene; and a method for controlling the ceramide content in cells and/or tissues; which are usefully applicable to-lipid engineering reagents for analyzing the structure and functions of ceramide, diseases in association with ceramide metabolism, etc.

哺乳類由来の中性・アルカリ性セラミダーゼ;それに特異的に結合する抗体;該セラミダーゼをコードする遺伝子;それに特異的にハイブリダイズするプローブ及びプライマー;該セラミダーセの遺伝子工学的な製造方法;該セラミダーゼ又は遺伝子の検出方法並びに細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量の調節方法。本発明は、セラミドの構造や機能等を解析するための脂質工学用試薬、セラミドの代謝に関連する疾患等への応用に有用である。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報) ドミニカアルジェリアエストニアスペインフィンランドフランス カザフスタン セントルシア リンテンシュタイン スリ・ランカ リベリア KZ LI LK LR LT RU S D S E S G AM AT AU SK G A G B リトアニア ルクセンブルグ ラトヴィア モロシコ モナコ モルドヴァ マダガスカル マケドニア旧ユーゴスラヴィア S L S N S Z 英国 グレナタ グルジア GD GE GH GM BE BF BG M A M C TD ガーナガンビア TG TJ TM トーコー タジキスタン トルクメニスタン MD MG BBRYAFGHIMNRUYZEK GN GR GW HR トルファーヘッ・トルファートルントルントリニダッド・トバゴ タンザニア ウッライナウガンダ MK TR TT TZ 共和国マンゴル M L M N ΗÜ UUUSZ VYZ Z Z モーリタニア マラウイ メキシコ モザンビーク MWXZELOZLTO NNPPR えイス ウガンタ 米国 ウズベキスタン ウェーゴースラヴィア ユーフフリカ共和国 ジンパブエ ヘイトシボアール カメルーン 中国 コスタ・リカ キューバ INSTPEGP モッシェール ニジェール オールウェー ニュー・ジーランド ポーランド キューバ キプロス <sub>日</sub>本 ケニア キルギスタン 北朝鮮 韓国 ルーマニア

# 明細書

# セラミダーゼ遺伝子

# 技術分野

本発明は、セラミドの構造や機能等を解析するための脂質工学用試薬として有用な、セラミダーゼ活性を有するポリペプチド、それに特異的に結合する抗体、該ポリペプチドをコードする遺伝子、それに特異的にハイブリダイズするプローブおよびプライマーに関する。また、本発明は、前記ポリペプチドの遺伝子工学的な製造方法、並びに該ポリペプチド又は遺伝子の検出方法及びそのキットに関する。さらに、本発明は、セラミド量の異常に起因する疾患への応用が可能な、細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量の調節方法に関する。

# 背景技術

セラミダーゼは、スフィンゴ脂質の一種であるセラミドをスフィンゴイドと脂肪酸に加水分解する酵素である。セラミドがセラミダーゼにより加水分解されて生成するスフィンゴイドは、プロテインキナーゼCの阻害、ホスフォリパーゼDの活性化、カルモジュリン依存性の酵素の阻害等の種々の生理活性を有する。このように、前記スフィンゴイドは、細胞の増殖や細胞内情報伝達に関与することにより、細胞機能の調節に働いていると考えられている重要な物質である。セラミダーゼは、前記スフィンゴイドの量の調節という重要な役割を担う酵素である

セラミダーゼは、その至適pHにより酸性セラミダーゼ、中性・アルカリ性セラミダーゼに分類される。これまで酸性域に至適pHを有するセラミダーゼの存在は、ラット脳[バイオケミストリー(Biochemistry)、第8巻、第1692~1698頁(1969)]、モルモット上皮細胞[ジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミ

ストリー (J. Biol. Chem.)、第270 巻、第12677 ~12684 頁 (1995)]、ヒト腎臓 [バイオキミカ・エ・バイオフィジカ・アクタ (Biochim. Biophys. Acta)、第398 巻、第125 ~131 頁 (1975)]、脾臓 [バイオキミカ・エ・バイオフィジカ・アクタ、第1004巻、第245 ~251 頁 (1989)]、繊維芽細胞 [バイオケミカル・ジャーナル (Biochem. J. )、第205 巻、第419 ~425 頁 (1982)]、上皮 [フェブス・レターズ (FEBS Lett.)、第268 巻、第110 ~112 頁 (1990)]等の哺乳動物組織、ヒト尿 [ジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミストリー、第270 巻、第11098 ~11102 頁 (1995)]等に報告されている。

また、シュードモナス属細菌がセラミダーゼを生産することが明らかにされており、該セラミダーゼは、アルカリ性域に至適 p Hを有するセラミダーゼである [ジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミストリー、第273 巻、第14368 ~14373 頁(1998)]。

これらのセラミダーゼのうち、ヒト尿より精製された酸性セラミダーゼのアミノ酸配列及び該セラミダーゼをコードする遺伝子の塩基配列が決定されている[ジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミストリー、第271 巻、第33110 ~33115 頁 (1996)]。また、前記ヒト尿由来の酸性セラミダーゼ遺伝子との相同性を利用してマウスの酸性セラミダーゼ遺伝子が得られている[ジェノミックス (Genomics)、第50巻、第267 ~274 頁 (1998)]。

しかしながら、報告されている哺乳類由来セラミダーゼ遺伝子は、いずれも酸性セラミダーゼをコードするものであり、哺乳類における中性・アルカリ性セラミダーゼのアミノ酸配列や遺伝子構造は全く知られておらず、高等生物における中性・アルカリ性セラミダーゼの生物学的機能も明らかにされていないのが現状である。

生体内におけるセラミドの機能の解明、その代謝の制御、セラミドに関連した 疾病の診断、治療等の研究には、セラミドに関連する種々の酵素、並びに該酵素 の遺伝子に関する詳細な情報を得る必要がある。しかしながら、上記のように哺

乳類における中性・アルカリ性セラミダーゼのアミノ酸配列、その遺伝子に関する知見は得られていないのが現状である。したがって、セラミドに関連する上記のような技術を開発するためには中性・アルカリ性セラミダーゼ、特にその遺伝子に関する知見を得る必要がある。

上記のように、哺乳類のセラミダーゼ遺伝子のクローニングについて、いくつかの報告があるが、これらはいずれも酸性領域で活性を示すセラミダーゼであり、中性・アルカリ性で活性を示すセラミダーゼとの間には高いホモロジーを期待できない。このため、酸性セラミダーゼ遺伝子の塩基配列のホモローグとして中性・アルカリ性セラミダーゼ遺伝子を取得することは困難である。

# 発明の開示

本発明は、前記従来技術に鑑みてなされたものであり、第1の目的は、哺乳類の中性・アルカリ性セラミダーゼ遺伝子を提供することにある。本発明の第2の目的は、前記遺伝子を含む発現ベクターを導入した形質転換体を用いる遺伝子工学的に高純度の中性・アルカリ性セラミダーゼを製造する方法を提供することにある。本発明の第3の目的は、前記遺伝子がコードするボリペプチドを提供することにある。本発明の第4の目的は、本発明の遺伝子又はその一部に相補的なアンチセンスDNA及びアンチセンスRNAを提供することにある。本発明の第5の目的は、本発明の遺伝子に特異的にハイブリダイズする合成オリゴヌクレオチドプロープ又はプライマーを提供することにある。本発明の第6の目的は、該ボリペプチドに特異的に結合する抗体又はその断片を提供することにある。本発明の第7の目的は、前記セラミダーゼ又はその遺伝子の検出方法及びそれに用いるキットを提供することにある。本発明の第8の目的は、細胞内または組織内におけるセラミド量の調節方法を提供することにある。

本発明者らは、哺乳類であるマウス肝臓から、中性・アルカリ性セラミダーゼ を単離し、その遺伝子を単離することに成功した。また、ハイブリダイゼーショ

ンやポリメラーゼ・チェイン・リアクション(PCR)などの手法を用いることにより、ヒトを含む哺乳類の中性・アルカリ性セラミダーゼの構造を解明することに成功した。更に該遺伝子を用いて、遺伝子工学的手法により高純度な中性・アルカリ性セラミダーゼを簡便に製造することにも成功し、本発明を完成するに至った。

即ち、本発明の要旨は、

- 〔1〕 (A)配列表の配列番号:14に記載のアミノ酸配列又はその一部を有してなるポリペプチドであって、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸;
- (B) 配列表の配列番号:15に記載の塩基配列又はその一部を有する核酸であって、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸:
- (C) 配列表の配列番号:14に記載のアミノ酸配列において、少なくとも1つのアミノ酸残基の欠失、付加、挿入又は置換を有するアミノ酸配列からなり、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸;
- (D) 配列表の配列番号:15に記載の塩基配列において、少なくとも1つの 塩基の欠失、付加、挿入又は置換を有する塩基配列からなり、かつセラミダーゼ 活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸;並びに
- (E) 前記(A)~(D)いずれか記載の核酸の相補鎖とストリンジェントな 条件下にハイプリダイズしうる核酸であって、かつセラミダーゼ活性を有するポ リペプチドをコードしてなる核酸、
- (F) 縮重を介して、前記(A)~(E)いずれか記載の核酸とは異なる塩基配列を有する核酸であって、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸、

からなる群より選択された核酸の塩基配列を有する遺伝子;

- 〔2〕 前記〔1〕記載の遺伝子を含有してなる組換えDNA;
- 〔3〕 前記〔1〕記載の遺伝子または前記〔2〕記載の組換えDNAを含有し

てなる、微生物、動物細胞又は植物細胞用発現ベクター;

- 〔4〕 前記〔3〕記載の発現ベクターを保持してなる形質転換体:
- (5) セラミダーゼ遺伝子が発現され、かつ該遺伝子にコードされたポリペプチドの生産に適する条件下に、前記 (4) 記載の形質転換体を培養し、得られた培養物からセラミダーゼ活性を有するポリペプチドを採取することを特徴とする、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドの製造方法:
- (6) 配列表の配列番号: 14に記載のアミノ酸配列又はその一部を有してなるポリペプチドであって、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチド;
- 〔7〕 前記〔1〕記載の遺伝子によりコードされてなる、セラミダーゼ活性を 有するポリペプチド;
  - 〔8〕 前記〔1〕記載の遺伝子又はその一部に相補的なアンチセンスDNA:
- [9] 前記〔1〕記載の遺伝子又はその一部に相補的なアンチセンスRNA:
- 〔10〕 前記〔8〕記載のアンチセンスDNAを含有してなる発現ベクター;
- (11) 前記(1)記載の遺伝子又はその相補鎖に特異的にハイブリダイズし うるオリゴヌクレオチドプロープ又はプライマー:
- 〔12〕 前記〔6〕又は〔7〕記載のポリペプチドに特異的に結合しうる抗体又はその断片;
- [13] 前記[11]記載のオリゴヌクレオチドプローブ及び/又はプライマーを使用する、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードする遺伝子の検出方法:
- 〔14〕 前記〔11〕記載のオリゴヌクレオチドプロープ及び/又はプライマーを含有してなる、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードする遺伝子の検出に用いるためのキット:
- 〔15〕 前記〔12〕記載の抗体又はその断片を使用する、セラミダーゼ活性 を有するポリペプチドの検出方法;
- 〔16〕 前記〔12〕記載の抗体又はその断片を含有してなるセラミダーゼ活

性を有するポリペプチドの検出に用いるためのキット;並びに

〔17〕 前記〔1〕記載の遺伝子又はそのアンチセンス核酸を細胞及び/又は組織に導入し、それにより細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量を調節することを特徴とする、細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量の調節方法に関する。

# 図面の簡単な説明

第1図は、セラミダーゼの至適pHを示す図である。

第2図は、セラミダーゼ遺伝子を含むDNA断片の制限酵素地図である。

# 発明を実施するための最良の形態

中性・アルカリ性セラミダーゼのコンセンサス配列などの情報が明らかではなかったため、本発明者らは、前記中性・アルカリ性セラミダーゼを単離してアミノ酸情報を得、それにより初めて前記セラミダーゼをコードする遺伝子を単離することができた。

これにより、本発明のマウス肝臓由来中性・アルカリ性セラミダーゼのアミノ酸配列は、シュードモナス属細菌〔シュードモナス・エルギノーサ(Pseudomonas aeruginosa)〕由来の既知のアルカリ性セラミダーゼ〔前出ジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミストリー、第273 巻、第14368 ~14373 頁(1998)〕のアミノ酸配列との相同性が低いという驚くべき知見をも得ることができた。

本発明のセラミダーゼは、哺乳類由来の中性・アルカリ性セラミダーゼとして 初めて明らかにされたものである。従って、本発明は、公知のシュードモナス属 細菌由来の既知のアルカリ性セラミダーゼに比べて、生体内におけるセラミドの 機能の解明、その代謝の制御、セラミドに関連した疾病の診断、治療等の開発に より一層有用である。

以下、本発明を説明する。

# (1) セラミダーゼ活性を有するポリペプチド

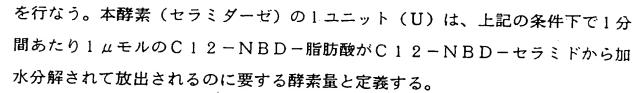
本明細書において、「セラミダーゼ活性を有するポリペプチド」(本明細書においては、単にセラミダーゼと記載する場合がある)とは、前記のようにセラミドをスフィンゴイドと脂肪酸とに加水分解する活性を有する酵素をいう。また、「中性・アルカリ性セラミダーゼ」とは、酸性領域よりも高いpHに至適pHを有するセラミダーゼをいう。

その一例として、本発明において単離精製されたマウス肝臓由来の中性・アルカリ性セラミダーゼの酵素化学的、理化学的性質を記載する。

# 1. 作用

本発明のセラミダーゼは、セラミドを加水分解しスフィンゴイドと脂肪酸とを 生成する。

なお、当該セラミダーゼの活性は、例えば、ジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミストリー、第275 巻、第3462~3468頁(2000)に記載の方法に従って測定することができる。すなわち、20μ1の25mMトリス塩酸緩衝液(pH7.5)中に550pmolの、C12−NBD−セラミド[アナリティカル・バイオケミストリー(Anal. Biochem.)、第263 巻、第183~188頁(1998)]、1.0%(W/V) コール酸ナトリウム及び適当量の酵素(セラミダーゼ)を溶解した反応混合液を37℃にて30分間インキュベートする。反応液を沸騰水浴で5分インキュベートすることにより反応を停止する。得られた反応液を更に減圧乾固する。乾固物をクロロホルム/メタノール=2/1(V/V)に溶解し、シリカゲル薄層クロマトグラフィ(展開溶媒:クロロホルム/メタノール/25%アンモニア水=90/20/0.5(V/V/V))で展開する。その後、CSー9300クロマトスキャナー(島津製作所製)を用い励起波長475nm、蛍光波長525nmで、上記の反応により生成したC12−NBD−脂肪酸の定量



# 2. 基質特異性

脂肪酸部分を¹¹C放射性同位体で標識した各種スフィンゴ脂質 1 0 0 pmol に対し、本発明のセラミダーゼ 5 m U を 1 % コール酸ナトリウムを含む 2 5 m M トリスー塩酸、 p H 7 . 5 緩衝液 2 0 m 1 中で 3 7 ℃、 2 4 時間作用させる。反応液はシリカゲル薄層クロマトグラフィにより展開後、イメージングアナライザー B A S 1 0 0 0 (富士フィルム社製)により¹¹Cー標識スフィンゴ脂質と、酵素反応によって生じた¹¹Cー標識脂肪酸とを検出定量し、得られた値から分解率を算出する。本発明のセラミダーゼの基質特異性を表 1 に示す。

本発明のセラミダーゼは、表1に示すように、①種々のN-アシルスフィンゴシンを加水分解する;②ガラクトシルセラミド、スルファチド、GM1a、スフィンゴミエリンには作用しない;③スフィンゲニン(d18:1)を含むセラミドに対して、スフィンガニン(d18:0)を含むセラミドより、よく作用する;④フィトスフィンゴシン(t18:0)を含むセラミドには作用しにくい等の基質特異性を示す。

表 1

基質(構造)	分解率 (%)
N-ラウロイルスフィンゴシン (C12:0/d18:1)	63
N-パルミトイルスフィンゴシン (C16:0/d18:1)	93
N-ステアロイルスフィンゴシン (C18:0/d18:1)	83
N-パルミトイルスフィンガニン (C16:0/d18:0)	59
N-ステアロイルスフィンガニン (C18:0/d18:0)	40
N-パルミトイルフィトスフィンゴシン (C16:0/t18:0)	5
N-ステアロイルフィトスフィンゴシン(C18:0/t18:0)	2
NBD-N-ドデカノイルスフィンゴシン (NBD-C12:0/d18:1)	97
NBD-N-ヘキサノイルスフィンゴシン (NBD-C6:0/d18:1)	2
ガラクトシルセラミド (Galb1-1' Cer)	0
スルファチド (HSO3-3Galb1-1'Cer)	0
GMla (Galb1-3GalNAcb1-4(NeuAca2-3)Galb1-4Glcb1-1'Cer)	0
スフィンゴミエリン (Choline phosphate Cer)	0

# 3. 至適pH

3.3-ジメチルグルタル酸、50 mM トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン、50 mM 2-アミノ-2- メチル-1.3- プロパンジオール)20 m 1 m 1 o 0 pmol の C 1 2 -NBD - term  $-\text{ ter$ 

。第1図の結果に示すように、本セラミダーゼの至適pHは、 $7.0\sim8.0$ である。

# 4. 温度安定性

本発明のセラミダーゼは、0.1% ポリドカノール(polidocanol)〔商品名:ルブロール(Lubrol)PX〕を含む20mMトリスー塩酸(pH7.5)緩衝液中、37%、24時間処理した場合には活性の低下は見られないが、<math>60%、1時間の処理により処理前の活性の約30%に活性が低下する。

# 5. 分子量

本発明のセラミダーゼの分子量は、SDS-PAGE(還元条件下)により約9.4 k Daである。またグリコペプチダーゼ Fにより消化された本酵素は、SDS-PAGE(還元条件下)により約7.3 k Daである。

なお、本明細書において、「セラミダーゼ活性を有するポリペプチド」の一例としては、配列表の配列番号:14に示されたアミノ酸配列を有する、マウス由来の天然型セラミダーゼのポリペプチドが挙げられる。さらに、該アミノ酸配列を有するポリペプチドのみならず、上記のような方法での活性測定により同様のセラミダーゼ活性が認められるものであれば、配列表の配列番号:14に示されるアミノ酸配列中に1個以上のアミノ酸の置換、欠失、付加、挿入等の変異が導入されたアミノ酸配列を有するポリペプチドも「セラミダーゼ活性を有するポリペプチド」に包含される。また前記変異は、得られたポリペプチドがセラミダーゼ活性を呈しうる変異であれば、2種以上の変異が導入されていてもよい。なお、本明細書において、「変異が導入されたアミノ酸配列」は、人為的に変異を導入したアミノ酸配列及び天然由来の変異を有するアミノ酸配列のいずれをも包含する。

かかる変異を有するセラミダーゼは、具体的には、例えば、後述のセラミダーゼ遺伝子の塩基配列(配列番号:15)において、変異を有する変異遺伝子につ

# いて、下記ステップ:

(a) 前記遺伝子の発現産物を、反応混合液〔組成:20μlの25mMトリス塩酸緩衝液(pH6~9、好ましくは6.5~8.5、より好ましくは7~8、特に好ましくは7.5)中、550pmolのC12-NBD-セラミド、及び1.0%(W/V) コール酸ナトリウム〕中、37℃で30分間インキュベートして反応させるステップ、並びに

(b) 得られた反応物について、C12-NBD-脂肪酸の生成を検出するステップ、

により、セラミダーゼ活性を示すポリペプチドを選択することにより得ることが できる。

# (2) セラミダーゼ遺伝子

本発明においてセラミダーゼ遺伝子とは、上記の「セラミダーゼ活性を有するポリペプチド」をコードする核酸の塩基配列を有する遺伝子、又は該遺伝子の塩基配列を含む核酸である。その一例としては、配列表の配列番号:14に記載のアミノ酸配列又はその一部からなるポリペプチドをコードする核酸の塩基配列を有する遺伝子、配列表の配列番号:15に記載の塩基配列又はその一部からなる核酸の塩基配列を有する遺伝子が挙げられるが、本発明はこれらに限定されるものではない。このように、配列番号:14に記載のアミノ酸配列の一部からなるポリペプチドをコードする核酸の塩基配列を有する遺伝子又は配列番号:15に記載の塩基配列の一部からなる核酸の塩基配列を有する遺伝子であっても、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードするものであれば、本発明の範囲に包含される。これらの遺伝子は、マウス肝臓由来中性・アルカリ性セラミダーゼの遺伝子であるが、本発明のセラミダーゼ遺伝子の起源は、前記(1)に記載のステップ(a)及び(b)と同様にして遺伝子産物のセラミダーゼ活性を検出されらるものであれば特に限定されない。かかる起源としては、例えば、マウス、

ラット、ヒト、ハムスター、モルモット等が挙げられる。

なお、本明細書において、「(アミノ酸配列の) 一部からなるポリペプチド」とは、前記(1)に記載のステップ(a)及び(b)によりセラミダーゼ活性を検出できるものを意味する。

さらに、同様のセラミダーゼ活性を呈しうる、変異を有するセラミダーゼをコードする遺伝子も本発明に包含される。例えば、配列表の配列番号:15に記載のアミノ酸配列において、1個以上のアミノ酸残基の欠失、付加、挿入又は置換等の変異が導入されたアミノ酸配列をコードする核酸の塩基配列を有する遺伝子であっても、該遺伝子にコードされるポリペプチドがセラミダーゼ活性を有するものであれば、本発明の遺伝子に含まれる。このように変異を有する天然由来の遺伝子のみならず人為的に作製された遺伝子であっても、中性・アルカリ性セラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードする核酸の塩基配列を有する遺伝子であれば本発明の範囲に包含される。

上記のような、人為的に変異の導入された遺伝子の作製方法としては、例えば 以下のような方法が使用される。

ランダムな変異を導入する方法としては、例えば、亜硫酸水素ナトリウムを用いた化学的な処理によりシトシン塩基をウラシル塩基に置換するトランジション変異を起こさせる方法[プロシーディングス・オブ・ザ・ナショナル・アカデミー・オブ・サイエンシーズ・オブ・ザ・USA、第79巻、第1408~1412頁(1982)]、マンガンを含む反応液中でPCRを行い、DNA合成時のヌクレオチドの取り込みの正確さを低くする方法[アナリティカル・バイオケミストリー(Anal Biochem.)、第224 、第347 ~353 頁(1995)] 等を用いることができる。

部位特異的変異を導入する方法としては、例えば、アンバー変異を利用する方法 [ギャップド・デュプレックス (gapped duplex ) 法、ヌクレイック・アシッズ・リサーチ (Nucleic Acids Research)、第12巻、第9441~9456頁 (1984)]、dut(dUTPase)とung(ウラシルーDNAグリコシラーゼ)遺伝子を欠

損した宿主を利用する方法 [クンケル (Kunkel) 法、プロシーディングス・オブ・ザ・ナショナル・アカデミー・オブ・サイエンシーズ・オブ・ザ・USA、第82巻、第488~492 頁 (1985)]、アンバー変異を利用したPCRによる方法 (国際公開第98/02535号パンフレット)等を用いることができる。これらの方法で目的の遺伝子に部位特異的な変異を導入するための各種のキットが市販されており、該キットを利用することにより、所望の変異を導入された遺伝子を容易に取得することが可能である。

また、前記核酸の相補鎖とストリンジェントな条件下にハイブリダイズする核酸であって、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードする核酸の塩基配列を有する遺伝子も本発明の遺伝子に含まれる。セラミダーゼ活性は、例えば、前記(1)に記載のステップ(a)及び(b)により検出することができる。

ここで、「ストリンジェントな条件」とは、例えば以下の条件をいう。すなわち、0.5%SDS、5×デンハルツ [Denhardt's、0.1%ウシ血清アルプミン(BSA)、0.1%ポリビニルピロリドン、0.1%フィコール400] 及び100μg/m1サケ精子DNAを含む6×SSC(1×SSCは0.15MNaC1、0.015Mクエン酸ナトリウム、pH7.0)中で、50℃で4時間~一晩保温を行う条件をいう。

また、ハイプリダイゼーション操作の詳細は、例えば、1989年、コールド・スプリング・ハーバー・ラボラトリー(Cold Spring Harbor Laboratory )発行、T. マニアティス(T. Maniatis )ら編集、モレキュラー・クローニング:ア・ラボラトリー・マニュアル 第 2 版(Molecular Cloning: A Laboratory Manual 2nd ed. )に記載されている。

なお、縮重遺伝子コードを介して、前記核酸とは異なる塩基配列を有する遺伝子も本発明のセラミダーゼ遺伝子に含まれる。

なお、本発明の遺伝子によりコードされたポリペプチドは、前記(1)に記載

のステップ(a)及び(b)により、セラミダーゼ活性が検出されるものであれば、本発明に含まれる。

本発明の遺伝子によれば、さらに種々の使用目的に適した組換えDNAが提供される。ここで、「組換えDNA」とは、遺伝子工学的手法により得られた、本発明の遺伝子を含有したDNAである。

本発明のセラミダーゼ遺伝子を含有した組換えDNAを公知のベクター等に連結し、セラミダーゼ遺伝子が発現可能な状態で挿入された発現ベクターを作製することができる。かかる発現ベクターも本発明に含まれる。

本発明において、発現ベクターとは、前記遺伝子または組換えDNAが挿入され、かつ所望の宿主細胞で発現するように構築されたベクターである。また、後述のアンチセンスDNAを挿入したベクターも本発明の発現ベクターに含まれる。挿入されるベクターとしては、プラスミドベクター、ファージベクター、ウイルスベクター等が挙げられる。プラスミドベクターとしてはpUC18、pUC19、pB1uescript、pETなどの市販品が好適に使用でき、ファージベクターとしては、入gt10、入gt11等のラムダファージベクターなどの市販品が好適に使用できるが、これらに限定されるものではない。ウイルスベクターとしては、レトロウイルスベクター、アデノウイルスベクター、ワクシニアウイルスベクター、アデノ随伴ウイルスベクター等が使用できるが、これらに限定されるものではない。これらのベクターは、用いる宿主細胞に応じて、適宜選ばれる。かかるベクターには、誘導可能なプロモーター、選択用マーカー遺伝子、ターミネーターなどの因子を適宜有していてもよい。

また、使用目的によっては、単離精製が容易になるように、Hisタグ、GS T融合タンパク質として発現しうる配列を有するベクターを用いてもよい。この 場合、宿主細胞内で機能する適切なプロモーター (例えば、lac、tac、t rc、trp、CMV、SV40初期プロモーターなど)を有するGST (グル タチオンSートランスフェラーゼ)融合タンパク質ベクター (例えば、pGEX

4 T) やタグ (例えば、Myc、His Aなど) 配列を有するベクターなどを用いることができる。

# (3) セラミダーゼ遺伝子を含有した形質転換体

本発明のセラミダーゼ遺伝子が挿入された発現ベクターで宿主の形質転換を行うことにより、本発明の形質転換体、すなわち本発明のセラミダーゼ遺伝子を発現する細胞を得ることができる。使用する宿主は、所望のセラミダーゼの使用目的により適宜選択することができ、大腸菌をはじめとする微生物、酵母の他、動物細胞、植物細胞、動物個体、植物個体等を用いることができる。具体的には、大腸菌としては、Escherichia coli K-12 系統のHB101 株、C600株、JM109 株、DH5  $\alpha$ 株、DH108 株、XL-1BlueMRF 株、T0P10F株などが挙げられる。また、酵母細胞としては、サッカロミセス・セルビジエなどが挙げられる。動物細胞としては、し、3T3、FM3A、CH0、COS、Vero、Helaなどが挙げられる。植物細胞としては、タバコBY2 などが挙げられる。

発現ベクターを宿主に導入する方法としては、例えば、モレキュラー・クローニング:ア・ラボラトリー・マニュアル 第2版、第249-254頁に記載の方法を用いることができる。次に、目的の遺伝子を発現する形質転換体を選択するためには、発現ベクターの特性を利用する。例えばプラスミドベクターがpBluescriptで、大腸菌を宿主細胞とする場合、アンピシリンを含むプレート上でアンピシリン耐性を有するコロニーを、あるいはアンピシリン、5-ブロモー4-クロロー3-インドリルーβ-D-ガラクトシド(X-Ga1)及びイソプロピルーβ-D-チオガラクトピラノシド(IPTG)を含むプレート上で、アンピシリン耐性を示し、かつ、白色を呈するコロニーを選択することにより外来遺伝子を導入されたコロニーを選別する。

本発明の形質転換体の培養を通常用いられる条件下で行なうことによって、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドを生産させることができる。なお、本発明

の遺伝子を発現させる宿主により、コドン使用頻度が異なり、発現が抑制される場合があるが、この場合、本発明の遺伝子に使用されるコドンを、それぞれの宿主に合わせたコドンにかえて用いてもよい。また、前記発現ベクターは、プラスミド由来のベクターのみに限定されるものではなく、本発明の目的を妨げないものであれば、ファージ、コスミド等由来のベクターを用いてもよい。本発明のポリペプチドを容易にかつ大量に製造する観点から、外来遺伝子を誘導発現させることが可能なベクター、レポーター遺伝子産物との融合蛋白質として発現させることが可能なベクター等が望ましい。

セラミダーゼの発現の確認は、セラミダーゼ活性を測定することにより行なうことができる。活性測定は、例えば、形質転換体の細胞抽出液を試料としてジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミストリー、第275 巻、第3462~3468頁(2000)に記載の方法、例えば、前記(1)に記載のステップ(a)及び(b)と同様の操作により行なうことができる。また、細胞内のセラミド量の測定によっても、セラミダーゼの発現の確認を行なうことができる。上記セラミド量の測定は、例えば、アナリティカル バイオケミストリー(Analytical Biochemistry)、第244 巻、第291~300頁(1997)に記載の方法で行うことができる。また、セラミダーゼに対する抗体を使用することもできるが、セラミダーゼを他のポリペプチド(本発明のセラミダーゼを除くポリペプチド)との融合体として発現させる場合には、そのポリペプチド(本発明のセラミダーゼを除くポリペプチド)部分に対する抗体を用いてもよい。抗体を使用する場合には、例えば形質転換体の細胞抽出液をSDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動した後、ポリビニリテンフルオライド(PVDF)膜上に転写し、この膜上で抗体を用いて検出することができる。

# (4)セラミダーゼ活性を有するポリペプチドの製造方法

本発明は、本発明の遺伝子が発現され、かつ該遺伝子にコードされたポリペプ

チドの生産に適する条件下に、上記の形質転換体を培養し、得られた培養物から セラミダーゼ活性を有するポリペプチドを採取する、セラミダーゼ活性を有する ポリペプチドを製造方法をも提供する。形質転換体の培養方法には、特に限定は なく、使用された宿主に適した公知の培養方法から適当なものを選択すればよい

本発明の製造方法において、上記の形質転換体が微生物あるいは培養細胞である場合には、培地組成、培地のpH、培養温度、培養時間の他、インデューサーの使用量、使用時間等についてセラミダーゼの発現に最適な条件を決定することによって、効率よくセラミダーゼを生産させることができる。

形質転換体の培養物からセラミダーゼを精製するには通常の方法が用いられる。 形質転換体が大腸菌のように細胞内にセラミダーゼが蓄積する場合には、培養終了後、遠心分離によって形質転換体細胞を集め、得られた細胞を超音波処理などによって破砕した後、遠心分離等によって無細胞抽出液を得る。これを出発材料とし、塩析法の他、イオン交換、ゲル濾過、疎水、アフィニティーなどの各種クロマトグラフィー等の一般的なタンパク質精製法により精製することができる。 用いる宿主ーベクター系によっては発現産物が細胞外に分泌される場合があるが、このような場合は培養上清から同様に精製を行なえばよい。

本発明の製造方法によれば、該セラミダーゼが細胞内に生産される場合、目的のセラミダーゼと細胞内の諸酵素、タンパク質などの夾雑物とが共存するが、これらの夾雑物は、発現されるセラミダーゼの量に比べて微量にすぎないため、その精製は極めて容易であるという優れた利点がある。また、ベクターとして細胞外分泌型のベクターを用いた場合、セラミダーゼが細胞外に分泌され、セラミダーゼを含む画分には、培地成分などが共存する。しかしながら、これらは通常セラミダーゼの精製の妨げとなるようなタンパク質成分をほとんど含まないため、例えば、マウス肝臓からのセラミダーゼの精製に必要であった頃雑な分離精製操作を必要としないという優れた利点がある。

また、真核生物由来のセラミダーゼの場合、酵素自身に糖鎖を有している可能性があり、宿主細胞として糖鎖生合成能力を持たない細胞、例えば、大腸菌、枯草菌、放線菌のような原核生物、あるいは酵母、真菌、動物細胞、昆虫細胞及び植物細胞の糖鎖生合成能力を失った変異細胞を用いることによって、糖鎖を持たないセラミダーゼ活性を有するポリペプチドを製造することができる。更に、糖鎖を有する酵素を生産することも可能であり、この場合は、宿主細胞として、糖鎖生合成能力を有する細胞、例えば、酵母、真菌、動物細胞、昆虫細胞及び植物細胞を用いることによって、糖鎖を持つセラミダーゼ活性を有するポリペプチドを製造することができる。

また、用いる宿主ーベクター系によっては、発現産物が不溶性の封入体(inclusion body)として形成されることがある。この場合、培養終了後に遠心分離によって細胞を集め、これを超音波処理などによって破砕した後、遠心分離等を行なうことにより封入体を含む不溶性画分を集める。封入体を洗浄した後、通常用いられるタンパク質可溶化剤、例えば尿素やグアニジン塩酸塩等で可溶化し、必要に応じてこれをイオン交換、ゲル濾過、疎水、アフィニティーなどの各種クロマトグラフィーを行なうことにより精製した後、透析法あるいは希釈法などを用いたリフォールディング操作を行なうことによってセラミダーゼ活性を保持したポリペプチドを含む標品を得ることができる。必要に応じてこの標品を更に各種クロマトグラフィーによって精製すれば、高純度のセラミダーゼ活性を有するポリペプチドを得ることができる。

# (5) ハイブリダイゼーション用プロープ及びPCR用プライマー

本発明のオリゴヌクレオチドプロープ又はプライマーは、本発明の遺伝子、又はその相補鎖に特異的にハイブリダイズしうる。かかるオリゴヌクレオチドプロープ又はプライマーは、本発明のセラミダーゼ遺伝子の塩基配列をもとに設計し、例えば、常法により化学的に合成することにより作製されうる。該オリゴヌク

レオチドプロープの塩基配列には特に限定はないが、前記セラミダーゼ遺伝子、 又は該遺伝子に相補的な塩基配列を有する核酸にストリンジェントな条件下にハイブリダイズするものであればよい。上記「ストリンジェントな条件」とは、特に限定されないが、例えば、6×SSC、0.5%SDS、5×デンハルト、100mg/m1ニシン精子DNAを含む溶液中、〔前記プロープのTm-25℃〕の温度で一晩保温する条件等をいう。また、上記のプライマーの塩基配列にも特に限定はなく、通常のPCRの反応条件において前記セラミダーゼ遺伝子、又は該遺伝子に相補的な塩基配列を有する遺伝子にアニーリングし、DNAポリメラーゼによる伸長反応を開始できるものであればよい。

オリゴヌクレオチドプロープ又はプライマーのTmは、例えば、下記式:

 $Tm = 81.5 - 16.6 (log_{10}[Na^+]) + 0.41 (\%G + C) - (600/N)$ 

(式中、Nはオリゴヌクレオチドプロープ又はプライマーの鎖長であり、%G+Cはオリゴヌクレオチドプロープ又はプライマー中のグアニン及びシトシン残基の含有量である)

により求められる。

また、オリゴヌクレオチドプロープ又はプライマーの鎖長が18塩基より短い場合、Tmは、例えば、A+T(アデニン+チミン)残基の含有量と2 C との積と、G+C 残基の含有量と4 C との積との和  $\{(A+T)\times 2+(G+C)\times 4\}$  により推定することができる。

上記のオリゴヌクレオチドプローブの鎖長としては、特に限定はないが、非特 異的なハイブリダイゼーションを防止する観点から、15塩基以上であることが 好ましく、18塩基以上であることがさらに好ましい。

また、本発明のプライマーにおいても、前記オリゴヌクレオチドプローブと同様の塩基配列を有する核酸が挙げられる。例えば、本発明の遺伝子の塩基配列をもとに設計し、化学的に合成すること等により作製することができる。プライマーの鎖長には、特に限定はないが、例えば、15~40塩基の鎖長のものを使用

することができ、特に17~30塩基の鎖長のものを好適に使用することができる。前記プライマーはPCR法をはじめとする種々の遺伝子増幅法に使用することが可能であり、これによって、本発明のセラミダーゼ遺伝子の検出を行うことができる。

また、前記オリゴヌクレオチドプローブ又はプライマーとして、天然由来のセラミダーゼをコードする核酸を、制限酵素処理、エキソ型ヌクレアーゼ処理等の酵素的処理、超音波等の物理的処理等により断片化し、得られた断片を、アガロースゲル等に代表される各種核酸分離法により分離精製することにより得られた核酸を用いてもよい。前記のようにして得られた核酸は、セラミダーゼに特徴的な配列を有する領域由来であることが望ましい。

さらに、前記オリゴヌクレオチドプロープ又はプライマーは、検出対象の核酸をより容易に検出をおこなうために、公知の方法にしたがって適当な標識を施し、本発明のセラミダーゼ遺伝子の検出に使用することができる。標識には、特に限定するものではないが、放射性同位元素の他、蛍光物質、ビオチンやジゴキシゲニンのようなリガンドなどに代表される各種の標識をおこなってもよい。

本発明のハイブリダイゼーション用のプローブを用いて、マウス肝臓以外の臓器あるいはマウス以外の生物体由来のゲノムDNAもしくは c DNA、又はゲノムDNAライブラリーもしくは c DNAライブラリーをスクリーニングすることにより、本発明のセラミダーゼ遺伝子と相同性の高いDNAをクローニングすることができる。

また、本発明のプライマーを用いて、マウス肝臓以外の臓器あるいはマウス以外の生物体由来のゲノムDNAもしくは c DNA、又はゲノムDNAライブラリーもしくは c DNAライブラリーから、PCR 法により本発明のセラミダーゼ遺伝子と相同性の高いDNA断片を検出したり、さらにはその全長の遺伝子を得ることもできる。

#### (6) 遺伝子の検出方法

本発明の遺伝子の検出方法は、前記オリゴヌクレオチドプローブ及び/又はプライマーを使用し検出用試料中の遺伝子を検出することを1つの大きな特徴とする。

本発明の検出方法においては、前記オリゴヌクレオチドプローブを用いてハイブリダイゼーション法などにより遺伝子の検出を行なってもよく、また、前記プライマーを用いて、PCR法などのDNA増幅方法により遺伝子の検出を行なってもよい。

オリゴヌクレオチドプローブを用いたハイブリダイゼーションの場合、検出用 試料としては、例えば、微生物のコロニーや培養細胞、組織切片のような試料、 これらの試料中のDNAやRNAを膜上に固定したもの、これらの試料から抽出 されたDNAやRNAなどが挙げられる。

ハイプリダイゼーションは、モレキュラー・クローニング:ア・ラボラトリー・マニュアル 第2版等に記載の公知の方法にしたがって行なうことができる。 当該ハイブリダイゼーションの条件は、用いるプローブのTm値、標的DNAの GC含量などにより適宜決定することができる。例えば、前記モレキュラー・クローニング:ア・ラボラトリー・マニュアル 第2版に記載の条件などを適用できる。

プライマーを用いて遺伝子の検出を行う場合、検出用試料としては、例えば、微生物培養液、微生物コロニー、微生物菌体のような微生物試料、培養細胞、組織、組織切片のような生体由来試料などが挙げられる。これらの試料は、例えば、単離した微生物や培養細胞をそのままの状態で用いてもよく、適切な処置を施した状態で用いてもよい。また組織のような固体試料は浸出液や懸濁液を調製して使用することができる。また、これらの試料の上清又はこれらの試料について界面活性剤処理のような細胞溶解処理が施された試料やその上清も使用することができる。さらに、検出対象である核酸を損なわない範囲で試料中の他の成分を

除去する操作が施されていてもよい。

前記プライマーを用いてPCR法により検出を行なう場合、PCR条件は、用いるプライマーのTm値、増幅し検出する対象の領域の長さなどにより、適宜選択することができる。PCR法では、増幅産物の有無を確認することにより目的の遺伝子を検出することができる。増幅の有無の確認法には特に限定はないが、例えば核酸増幅反応液をアガロースゲル電気泳動に供した後、ゲルを適当な核酸染色試薬、例えばエチジウムプロマイド、サイバー・グリーンI(SYBER Green L)等で染色し、紫外線を照射して生じるバンドの有無を検出することにより確認できる。バンドの検出は肉眼で観察してもよいが、例えば蛍光イメージアナライザー等を用いて検出することもできる。

本発明の遺伝子の検出方法においては、検出感度を上昇させるために、前記プロープ及びプライマーを併用してもよい。例えば、前記プライマーを用いて、PCR法により、試料中に微量に存在するセラミダーゼ遺伝子を増幅し、ついで、プロープを用いて該遺伝子とハイブリダイズさせることによって、高感度かつ正確に検出することができる。

本発明の検出方法によりセラミダーゼ遺伝子の検出を行ない、さらに該遺伝子の量を決定する場合には、ハイブリダイズしたプローブに由来するシグナルの強度、プライマーを用いて増幅された産物に由来するバンドの蛍光強度などを定量することにより行なうことができる。mRNAを測定対象としてその定量を行うことにより、目的遺伝子の発現量を調べることができる。

また、本発明の検出方法には、本発明の遺伝子の検出に用いるためのキットを使用することにより、より簡便に検出を行なうことができる。かかるキットも本発明に含まれる。前記キットは、上記のオリゴヌクレオチドプローブ及び/又は上記のプライマーを含有してなることを1つの特徴とする。前記キットは、検出操作に使用される種々のコンポーネントを含んでもよく、例えば、オリゴヌクレオチドプローブを含むキットの場合には核酸を固定するための膜やハイブリダイ

ゼーション緩衝液などに代表されるハイブリダイゼーション用の各種試薬、また、プライマーを含むキットの場合には耐熱性DNAポリメラーゼ、dNTP混合液、PCR用緩衝液などに代表されるPCR用試薬を含んでいてもよい。さらに、プローブや増幅されたDNAを検出するための試薬や微生物増殖用の培地、細胞培養用の培地、試料より核酸を抽出するための試薬などを含有してもよい。

(7) セラミダーゼ活性を有するポリペプチドに特異的に結合する抗体又はその 断片

本発明のポリペプチドに特異的に結合する抗体又はその断片は、該ポリペプチドに特異的に結合する能力を有するものであれば、特に限定はなく、ポリクローナル抗体、モノクローナル抗体のどちらでもよい。さらに、公知技術により修飾された抗体や抗体の誘導体、例えばヒト化抗体、Fabフラグメント、単鎖抗体等を使用することもできる。本発明の抗体は、例えば、1992年、ジョン・ワイリー&サンズ社(John Wiely & Sons. Inc)発行、ジョン・E・コリガン(John E. Coligan )編集、カレント・プロトコルズ・イン・イムノロジー(Current Protocols in Immunology )に記載の方法により、本発明のポリペプチドの全部又は一部を用いてウサギやラット、マウス等を免疫することにより、容易に作製され得る。こうして得られた抗体を精製後、ペプチダーゼ等により処理することにより、抗体の断片が得られる。また、遺伝子工学的に抗体を作製することもできる。さらに、本発明の抗体又はその断片は、酵素免疫測定法、蛍光免疫測定法、発光免疫測定法などによる検出を容易にするために、各種修飾をしてもよい。

上記の抗体又はその断片には、ポリペプチドのある部分断片に特異的に結合し うるものも含まれる。

得られた抗体又はその断片の用途としては、セラミダーゼ生産菌の検出、セラミダーゼ発現細胞株の検出、培養細胞や組織中のセラミダーゼタンパク質の検出、アフィニティークロマトグラフィー、各種ライブラリー(ゲノムDNA又はc

DNA)の発現産物のスクリーニング、医薬、診断薬、研究用試薬等への応用が考えられる。

### (8)ポリペプチドの検出方法

本発明のポリペプチドの検出方法は、前記抗体又はその断片を使用し、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドを検出することを特徴とする。

本発明においては、検出用試料として、例えば、微生物や動物細胞の培養物、 組織切片、微生物や動物細胞の細胞破砕物、皮膚等の組織の抽出液あるいは洗浄 液、微生物や動物細胞、組織由来のタンパク質が固定された膜などのタンパク質 試料を用いることができる。

抗体又はその断片の前記ポリペプチドへの特異的な結合の検出は、公知の方法が利用できるが、例えば、酵素免疫測定法、蛍光免疫測定法、発光免疫測定法などが挙げられる。

本発明のポリペプチドの検出方法には、本発明のポリペプチドの検出に用いる ためのキットを使用することにより、より簡便に検出を行なうことができる。か かるキットも本発明に含まれる。 前記キットは、上記の抗体又はその断片を含 有してなることを特徴とする。また、該キットは反応用緩衝液、標識二次抗体、 発色試薬などを含有してもよい。

## (9) アンチセンスDNA及びアンチセンスRNA

本発明において、「アンチセンスDNA」及び「アンチセンスRNA」とは、本発明のセラミダーゼ遺伝子又はその一部と相補的な塩基配列を有し、内因性のセラミダーゼ遺伝子(ゲノムDNA及びmRNA)と2本鎖を形成することによって、該遺伝子からの遺伝子情報の発現(転写、翻訳)を抑制又は制御するものをいう。アンチセンスDNA又はアンチセンスRNAの長さは、塩基配列の特異性や細胞内に導入する方法に応じて変えることが可能である。アンチセンスDN

A又はアンチセンスRNAは、合成機を用いて人工的に合成したり、本発明の遺伝子を鋳型とした酵素反応によって通常と逆の向き(アンチセンスの向き)に遺伝子を発現させること等により、作製することが可能である。生体内においてアンチセンスRNAの発現が望まれる場合には、本発明の遺伝子を通常とは逆の向きに接続した発現ベクターを構築し、これを生体内に導入すればよい。

例えば、tat遺伝子[ヌクレイック アシドズ リサーチ (Nucleic Acids Research)、第19巻、第3359~3368頁(1991)]、あるいはrev遺伝子[プロシーディングス オブ ザ ナショナル アカデミー オブ サイエンシーズオブ ザ USA(Proceedings of the National Academy of Sciences of the USA)、第86巻、第4244~4248頁(1989)]を利用したHIVの増殖抑制等、アンチセンス技術は数多く知られており、従って、これらの方法により、本発明のアンチセンスDNA又はアンチセンスRNAを用いて、内因性のセラミダーゼ遺伝子の発現を抑制又は制御することが可能である。また、本発明のアンチセンスDNA又はアンチセンスRNAは、in situ ハイブリダイゼーション等の研究試薬として利用可能である。

(10)セラミダーゼ遺伝子又はそのアンチセンス核酸を用いた細胞内又は組織内におけるセラミド量の調節

本発明の遺伝子により、さらに細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量の調節方法を提供することができる。かかる調節方法も本発明に包含される。本発明の細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量の調節方法は、本発明のセラミダーゼ遺伝子を細胞及び/又は組織に導入し、それにより細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量を調節することに1つの特徴がある。

即ち、本発明の調節方法においては、本発明のセラミダーゼ遺伝子を細胞又は 組織中に導入し、該遺伝子により発現されたセラミダーゼにより、細胞又は組織 中のセラミドが分解され、一方、本発明のセラミダーゼ遺伝子を、該遺伝子のア

ンチセンス核酸、例えば、アンチセンスRNAが生成するような形で細胞、組織に導入することにより、当該細胞、組織中でのセラミダーゼ活性を低減し、セラミドの分解を抑制することができる。また、セラミド量を抑制する場合には、本発明のセラミダーゼ遺伝子のアンチセンス核酸、即ち、本発明のアンチセンスDNA又はアンチセンスRNAをそのままの形態で細胞又は組織に導入してもよい。

前記セラミダーゼ遺伝子又はそのアンチセンス核酸を細胞又は組織に導入する方法としては、公知の方法が使用でき、エレクトロポレーション法、パーティクルガン法等の物理的遺伝子導入方法や、ウイルスベクターを用いた遺伝子導入方法を利用することができる。本発明の方法に使用できるウイルスベクターに特に限定はないが、例えばレトロウイルスベクター、アデノウイルスベクター、ワクシニアウイルスベクター、アデノ随伴ウイルスベクター等を用いて導入することができる。

本発明の調節方法によれば、本発明のセラミダーゼ遺伝子又はそのアンチセンス核酸を細胞及び/又は組織に導入して、細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量を調節することにより、セラミド量の異常に起因する疾患の治療を行なうことができ、またセラミド代謝異常の疾病モデル動物を作製することができるという優れた効果を奏する。「セラミド量の異常に起因する疾患」としては、特に限定されないが、例えば、ファーバー病等が挙げられる。

以下に、マウス肝臓由来セラミダーゼの遺伝子を取得する方法について説明する。

1) まず、マウス肝臓のホモジネートより膜画分を調製し、これをショ糖-EDT A 液に懸濁して凍結融解した後、遠心分離を行って上清(粗酵素抽出液)を得る。この粗酵素抽出液より公知のタンパク質精製方法、例えば各種のクロマトグラフィーを組み合わせて単一な状態に精製されたセラミダーゼ標品を得ることがで

きる。上記の精製に使用できるクロマトグラフィーとしては、陰イオン交換クロマトグラフィー、疎水クロマトグラフィー、キレーティングクロマトグラフィー、ゲルろ過クロマトグラフィー等を使用することができる。

- 2) 次にセラミダーゼ遺伝子をクローニングするためのプローブを作製するための情報として、セラミダーゼの部分アミノ酸配列を調べる。上記の精製セラミダーゼ標品をそのままエドマン分解法 [ジャーナル・オブ・バイオロジカル・ケミストリー、第256 巻、第7990~7997頁(1981)]によるアミノ酸配列分析に供することにより、セラミダーゼのN末端アミノ酸配列を知ることができる。また、精製酵素標品を基質特異性の高いプロテアーゼ、例えばリジルエンドペプチダーゼやNートシルーLーフェニルアラニルクロロメチルケトン(TPCK)ートリプシン等で消化して得られるペプチド混合物より適当なペプチド断片を精製し、該断片についてアミノ酸配列分析を行うことにより、セラミダーゼ内部の部分アミノ酸配列を得ることができる。
- 3) こうして明らかとなったアミノ酸配列の情報をもとに、ハイブリダイゼーション用のプロープ、又はPCR用のプライマーとして使用するためのオリゴヌクレオチドを設計し、本発明のセラミダーゼ遺伝子をクローニングする。そのためには、一般的に用いられるPCR又はハイブリダイーゼーション法を利用する。PCR法は、1989年、ストックトン・プレス(Stockton Press)社発行、エルリッヒ H. A. (Erlich. H.A.) 編集、PCRテクノロジー(PCR Technology)に記載の方法に準じて行うことができる。ハイブリダイゼーション法は、例えばモレキュラー・クローニング:ア・ラボラトリー・マニュアル 第2版に記載の方法に準じて行うことができる。
- 4) 上記のハイブリダイゼーション又はPCRによって得られたDNA断片は、その塩基配列を解読することにより、そこにコードされうるアミノ酸配列を知ることができる。該配列を、上記2)で得られたセラミダーゼの部分アミノ酸配列と比較し、上記のDNA断片がセラミダーゼ遺伝子の断片であるかどうかを確

認することができる。

5) 3)のハイブリダイゼーション又はPCRによって得られたDNA断片がセラミダーゼ遺伝子の一部であった場合、3)の操作を繰り返すか、あるいは3)で得られたDNA断片の塩基配列をもとに新たなプローブ、プライマーを作製し、これを使用してハイブリダイゼーション又はPCRを実施することにより、セラミダーゼ全長をコードする遺伝子を含むDNA断片を得ることができる。

6) こうして得られたセラミダーゼ全長をコードする遺伝子を適当なベクターに接続して発現ベクターを構築し、該発現ベクターが導入された形質転換体を作製する。この形質転換体を培養して、培養物中のセラミダーゼ活性を調べることにより、得られた遺伝子がセラミダーゼをコードするものであることを確認することができる。

しかしながら、本発明のセラミダーゼ遺伝子のクローニングにおいて、本発明において得られた部分アミノ酸配列情報ではハイブリダイゼーション法によるライブラリーのスクリーニングに適したプロープDNAを設計することはできなかった。また、部分アミノ酸配列及びライブラリー作製に使用したベクターの塩基配列それぞれから様々なPCRプライマーを設計し、各種組み合わせでPCRを行なったが特異的な増幅は見られず、唯一、部分アミノ酸配列C-53(配列表の配列番号:3にC-53のアミノ酸配列を示す)をもとに設計した2種のプライマー同士の組み合わせのみに増幅が見られた。ただし増幅されたDNA断片P-1(配列表の配列番号:6にP-1の塩基配列を示す)は68 bp と短いものであり、そのままハイブリダイゼーション法によるライブラリーのスクリーニング用プローブとして用いることはできなかった。そこでP-1の配列からさらにPCRプライマーを設計するとともに、これをライブラリー作製に使用されたベクターの塩基配列から設計されたプライマーと組み合わせてPCRを行うことにより、初めてハイブリダイゼーション法によるライブラリーのスクリーニング用のプローブに適していると考えられる335bpの遺伝子断片を得ることに初めて

成功した。

さらに、前記335bpのDNA断片をプローブにして、マウス肝臓由来のcDNAライブラリーをスクリーニングすることにより、セラミダーゼ全長をコードする遺伝子をクローニングすることができる。また、マウス肝臓由来のゲノムDNAライブラリーをスクリーニングすることにより、本発明のセラミダーゼのゲノムDNAを得ることも可能である。

以上のようにして得られる、マウス肝臓の産生するセラミダーゼ遺伝子の全塩基配列は、配列表の配列番号:12に記載されており、ここにコードされるポリペプチドのアミノ酸配列は、配列表の配列番号:13に記載されている。なお、このアミノ酸配列と当該酵素のN末端アミノ酸配列より、生体内において当該酵素はN末端部分のペプチドが除去された成熟型酵素にプロセッシングされることが判明した。この成熟型セラミダーゼのアミノ酸配列、並びに該配列をコードする塩基配列を、それぞれ配列表の配列番号:14及び15に示す。上記のアミノ酸配列、塩基配列は、それぞれ公知の哺乳類由来セラミダーゼのアミノ酸配列、塩基配列のそれぞれとの間にはホモロジーはない。すなわち、本発明により提供されるセラミダーゼ遺伝子は公知のセラミダーゼ遺伝子とは関係のない、全く新しい配列からなるものである。

このように、本発明により、マウス肝臓由来のセラミダーゼの一次構造及び遺伝子構造が提供される。更に、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドの安価で高純度な遺伝子工学的な製造方法が可能となる。

また、本発明のセラミダーゼ遺伝子に特異的にハイブリダイズするオリゴヌクレオチドプロープ又はプライマーは、本発明のセラミダーゼ遺伝子の検索、検出や増幅等に有用である。本発明のポリペプチドに特異的に結合する抗体又はその断片は、セラミダーゼの検出、同定や精製等において有用である。

また、本発明の細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量の調節方法によれば、本発明のセラミダーゼ遺伝子又はそのアンチセンス核酸を細胞及び/又は組

織に導入して、細胞及び/又は組織内のセラミド量を調節することができるため、かかる調節方法は、セラミド量の異常に起因する疾患、特に限定されないが、 例えば、ファーバー病等の疾患の治療に有用である。

以下に実施例をもってさらに詳細に本発明を説明するが、本発明は実施例の範囲に限定されるものではない。

## 実施例1 セラミダーゼの精製

105匹のSea/ddY マウス (成和実験動物研究所製) から摘出した肝臓 181 gを1 mM EDTAを含む 0.25M ショ糖液 (ショ糖-EDTA 液) 300 m 1 中でホモジナイズした。このホモジネートを600×gで10分間遠心分離した後、上清を回収した。得られた上清を、さらに2700×gで30分間遠心分離し、沈殿を回収した。

沈殿画分を480mlのショ糖-EDTA 液に懸濁して懸濁液を得た。得られた懸濁液を-80℃で凍結した後、流水下で融解した。この凍結、融解処理を2回繰り返した。ついで、処理懸濁液を105000×gで90分間遠心分離し、上清及び沈殿それぞれを回収した。沈殿は、上記同様の凍結、融解~遠心分離の処理に供した。上清を回収して先の上清と合わせ、520mlの粗酵素抽出液を得た。

粗抽出液 2 6 0 m 1 を 2 0 m M リン酸緩衝液 (p H 7. 0)で平衡化した 1 0 0 m 1 の D E A E - セファロース F F (アマシャム・ファルマシア社製) カラムにアプライし、非吸着物質を洗浄除去した。ついで、1 M Na C 1 を含む同緩衝液による溶出を行い、セラミダーゼ活性画分 1 6 0 m 1 を回収した。該画分は、続いて 1 M Na C 1 を含む 2 0 m M トリスー塩酸緩衝液 (p H 7. 5)で平衡化した 1 0 0 m 1 のフェニルーセファロース F F (アマシャム・ファルマシア社製) カラムにアプライした後、 2 M から 0 M への Na C 1 の 濃度 グラジェ

ントで溶出し、更に 0 %から 1% へのポリドカノール (Polidocanol) (商品名: ルブロール P X、ナカライテスク社製) の濃度グラジエントで溶出した。このクロマトグラフィーにより、 3 1 0 m 1 のセラミダーゼ活性画分を回収した。

得られた活性画分を、0.5M NaCl及び0.1%のルブロールPXを含 む20mM トリスー塩酸緩衝液 (pH7.5) で平衡化した25mlのキレー ティング-セファロースFF(アマシャム・ファルマシア社製、Cu<sup>2+</sup>結合型) カラムにアプライした。カラムを同緩衝液及び0.1%のルプロールPXを含む 20mM トリスー塩酸緩衝液 (pH7.5) で洗浄した後、2M NH<sub>4</sub>C1 、0. 1%のルブロールPXを含む20mM トリス-塩酸緩衝液(pH7.5 )で酵素の溶出を行なった。溶出された活性画分を限外ろ過により濃縮して濃縮 物を得た。ついで、濃縮物中の緩衝液を0.1%のルブロールPXを含む20m トリスー塩酸緩衝液 (pH7.5) に置換し、酵素液を得た。得られた酵素 | 液 3 0 m l は、更に 0 1 % のルプロール P X を含む 2 0 m M トリスー塩酸緩 衝液(p H 7. 5)で平衡化したポロスHQカラム(φ 4. 6×100 mm、パ ーセプティブ・バイオシステムズ社製)にアプライした。ついで、0Mから0. 5 MへのNaClの濃度グラジエントで溶出し、活性画分を得た。この活性画分 を 0.2M NaC1、 0.1%のルプロールPXを含む1mM リン酸緩衝液 (pH7.0)で平衡化したハイドロキシアパタイトカラム(φ7.5×100 mm、ペンタックス社製)にアプライした。セラミダーゼは、本カラムに吸着せ ず通過画分に回収された。ついで、該画分を、0.2M NaC1、0.3%の ルブロールPXを含む20mM トリス-塩酸緩衝液(pH7.5)で平衡化し たスーパーロース200HRカラム( $\phi$ 10×300mm、アマシャム・ファル マシア社製)を用いたゲルろ過クロマトグラフィーに供し、精製セラミダーゼを 得た。以上の精製操作の結果、58mgの精製セラミダーゼ標品を得た。

なお、得られた精製セラミダーゼ標品の種々の性質について、本明細書に記載 のように検討したところ、下記の通りであった。

作用:セラミドを加水分解しスフィンゴイドと脂肪酸とを生成した。

基質特異性:前記表1に示すとおりの基質特異性を有した。

至適pH:第1図の結果に示すように、本セラミダーゼの至適pHは、7.0

温度安定性: 0.1% ポリドカノール (Polidocanol) (商品名: ルブロール (Lubrol) PX) を含む 20 mMトリスー塩酸 (pH7.5) 緩衝液中、37  $\mathbb{C}$  、24 時間処理した場合には活性の低下は見られないが、60  $\mathbb{C}$ 、1 時間の処理により処理前の活性の約 30 %に活性が低下した。

分子量: SDS-PAGE(還元条件下)により約94kDaであった。またグリコペプチダーゼ Fにより消化された本酵素は、SDS-PAGE(還元条件下)により約73kDaであった。

#### 実施例2 セラミダーゼの部分アミノ酸配列分析

 $50 \, \mathrm{pmol}$ のセラミダーゼを含有する試料液  $11 \, \mathrm{m}$  1 に、 $0.3 \, \mathrm{Mon}$ ルプロール  $\mathrm{PX}$  を含む  $20 \, \mathrm{mM}$  トリス-塩酸緩衝液( $\mathrm{pH7}$ . 5)を加えた。得られた試料液を、 $\mathrm{MonoQ}$  PC 1 6 / 5 / 5 / 5 / 5 / 6 / 6 / 5 / 7 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 7 / 2 / 9 / 9 / 9 / 9 / 2 / 9 /

。配列表の配列番号:1にN-termのアミノ酸配列を示す。

## 実施例3 セラミダーゼ遺伝子を含むDNA断片のPCR法による増幅

この増幅DNAをゲルより回収し、これをpGEM-Teasyベクター(

プロメガ社製)に組み込み、組換えプラスミドを構築した。該プラスミドの挿入 DNA断片の塩基配列解析を行なった結果、この断片の部分塩基配列P-1が決 定された。配列表の配列番号:6にP-1の塩基配列を示す。該配列は実施例2 で決定されたセラミダーゼの部分アミノ酸配列C-53に対応する配列であり、 目的とするセラミダーゼの遺伝子の一部が取得できたことが確認された。

このP-1 の塩基配列をもとに、アンチセンスプライマーMA 1 及びMA 2 をデザインして合成した。配列表の配列番号:7、8にそれぞれプライマーMA 1、MA 2 の塩基配列を示す。また、マウス肝臓 c DNA プラスミドライブラリー の構築に用いられたベクター p A P 3 n e o の塩基配列をもとにセンスプライマーT 7 i n 及びT 7 o u t をデザインし合成した。配列表の配列番号:9、1 0 にそれぞれプライマーT 7 i n、T 7 o u t の塩基配列を示す。これらのプライマーを用いて、マウス肝臓 c DNA ライブラリーを鋳型としたネスティッド P C R を行なった。1 s t P C R として、まずセンスプライマーT 7 o u t 及びアンチセンスプライマーMA 2 を使用して 9 4  $\mathbb C$ 、9 分の後、9 4  $\mathbb C$ 、0. 5 分~5 1  $\mathbb C$ 、0. 5 分~7 2  $\mathbb C$ 、2 分を 1 サイクルとする 4 0 サイクルの反応を行ない、さらに 7 2  $\mathbb C$ 、7 分間保温した。さらに 7 n 及びアンチセンスプライマーMA 1 を使用する以外は 1 s t P C R と同じ条件で行なった。この結果、3 3 5 bpの増幅 DNA 断片が得られた。これを以下に示すコロニーハイブリダイゼーションのプロープとした。

## 実施例4 セラミダーゼ遺伝子のクローニング

マウス肝臓 c DNAプラスミドライブラリーを導入された形質転換体を、 $100\mu$  g / m 1 のアンピシリンを含むL B寒天培地プレート上のナイロンフィルター(商品名:ハイボンドーN<sup>+</sup>、アマシャムファルマシア社製)に播種し、 $9.5\times13.5$  c mのプレート 1 枚当たり約3万個のコロニーを形成させてマスタ

ーフィルターを作製した。このフィルターのレプリカを作製し、得られたレプリカフィルターを10%SDS溶液に浸したろ紙上で5分間;0.5MNaOH、1.5MNaC1溶液に浸したろ紙上で5分間(変性);3MNaC1を含む0.5Mトリスー塩酸緩衝液(pH7.5)に浸したろ紙上で5分間(中和); $2\times SSC$ 溶液に浸したろ紙上で5分間、それぞれ処理した。ついで、 $2\times SSC$ 溶液でフィルターをリンスした。このフィルターを風乾したのち、紫外線照射によりDNAをフィルターに固定し、コロニーハイブリダイゼーション用のフィルターとした。

ハイブリダイゼーションのプローブとしては、実施例 3 で得た増幅DNA断片 0. 1 μ g 相当をDNAラベリングキット、レディー・トゥー・ゴー (Ready To Go 、ファルマシア社製)を用いて、同キットのプロトコールに従って³² P で標識したものを用いた。上記のフィルターをハイブリバッグに入れ、ハイブリダイゼーション溶液(組成: 7% PEG 6 0 0 0、1 0% SDS溶液)中、6 0℃で1時間プレハイブリダイゼーションを行なった後、上記の標識プローブを 0.0 6 pmol/m 1 となるように加え、6 0℃で一晩ハイブリダイゼーションを行なった。次に、6 0℃に加温しておいた洗浄液(2×SSC、0.1% SDS)中、6 0℃で15分間ずつ3回、フィルターを洗浄した。フィルターから余分な水分を除いた後、富士フィルム社製イメージングプレートに20分間感光した後、BAS1000イメージングアナライザー(富士フィルム社製)にてシグナルを検出した。次いで本操作により得られた陽性シグナルに対応するマスターフィルター上のコロニーを採取した(1次スクリーニング)。

採集したコロニーを、 $100\mu$ g/mlのアンピシリンを含むLB培地に懸濁した後 $100\mu$ g/mlのアンピシリンを含む $9.5\times13.5$ cm LB寒天培地プレート上のナイロンフィルターに播種し、1枚当たり $200\sim1000$ 個のコロニーを形成させてマスターフィルターを作製した。このフィルターについて、1次スクリーニングと同様の方法により陽性クローンのスクリーニングを行

い、さらに同様の操作で3次スクリーニングを実施した。3次スクリーニングの 結果、セラミダーゼ遺伝子を含むと考えられる陽性クローンを単離することがで きた。

この陽性クローンからプラスミドを調製し、これをプラスミドpLCDaseと命名した。該プラスミドを種々の制限酵素、もしくは複数の制限酵素の組み合わせで消化したうえ、生成した各DNA断片をサブクローニングしてその塩基配列を解析した。これにより、プラスミドpLCDaseに挿入されたDNA断片の全塩基配列を決定した。該配列を配列表の配列番号:11に示す。また、該配列中に見出されたオープン・リーディング・フレーム(ORF)の塩基配列、並びにそこにコードされるポリペプチドのアミノ酸配列を、それぞれ配列表の配列番号:12及び13に示す。さらに、上記のDNA断片の制限酵素地図と、該DNA断片に含有されるオープン・リーディング・フレームの位置を第2図に示す。

上記のORFの塩基配列を解析したところ、ここには実施例2で明らかにされたセラミダーゼの部分アミノ酸配列をコードする塩基配列が含まれており、このORFがセラミダーゼをコードするものであることが確認された。また、該ORFにコードされるセラミダーゼのアミノ酸配列と、配列表の配列番号:1に示されるセラミダーゼのアミノ酸配列とを比較すると、マウス肝臓より精製されたセラミダーゼは、上記のORFにコードされるポリペプチドのうちのN末端部分のペプチドを欠くことが示された。すなわち、セラミダーゼは、翻訳後にそのN末端部分を除去するプロセッシングを受けて成熟型酵素に変換されることが示された。配列表の配列番号:14に成熟型セラミダーゼのアミノ酸配列を、また、配列表の配列番号:15に成熟型セラミダーゼをコードする塩基配列をそれぞれ示す。

実施例5 セラミダーゼ遺伝子の発現

直径  $35\,\mathrm{mm}$ のディッシュに $10\,\mathrm{%FCS}$ 含有 $\alpha-\mathrm{MEM}$ 培地で培養された $\mathrm{C}$  HO細胞( $3\times10^5$  細胞/ディッシュ)に、実施例 4 で得られたプラスミド p L C D a s e  $1\,\mu$  g と、リポフェクトアミン(ライフ・テクノロジーズ社製)  $5\,\mu$  1 とを加えることにより、セラミダーゼ遺伝子をC HO細胞に導入した。この細胞を  $37\,\mathrm{C}$ で  $24\,\mathrm{BH}$  間培養後、 $0.1\,\mathrm{M}$  TritonX- $100\,\mathrm{E}$  含む  $100\,\mu$  1  $00\,\mathrm{M}$  Tris 塩酸( $00\,\mu$  1  $00\,\mathrm{M}$  Tris 塩酸( $00\,\mathrm{M}$  1  $00\,\mathrm{M}$  2  $00\,\mathrm{M}$  2  $00\,\mathrm{M}$  2  $00\,\mathrm{M}$  2  $00\,\mathrm{M}$  2  $00\,\mathrm{M}$  2  $00\,\mathrm{M}$  3  $00\,\mathrm{M}$  2  $00\,\mathrm{M}$  3  $00\,\mathrm{M}$  3  $00\,\mathrm{M}$  3  $00\,\mathrm{M}$  3  $00\,\mathrm{M}$  4  $00\,\mathrm{M}$  5  $00\,\mathrm{M}$  5  $00\,\mathrm{M}$  6  $00\,\mathrm{M}$  7  $00\,\mathrm{M}$  6  $00\,\mathrm{M}$  7  $00\,\mathrm{M}$  6  $00\,\mathrm{M}$  7  $00\,\mathrm{M}$  7  $00\,\mathrm{M}$  7  $00\,\mathrm{M}$  8  $00\,\mathrm{M}$  9  $00\,\mathrm{M}$  8  $00\,\mathrm{M}$  9  $00\,\mathrm{M}$  9

更に、アナリティカル バイオケミストリー(Analytical Biochemistry) 第24 4 巻、第291 ~300 頁(1997)に記載の方法に従って、細胞内のセラミド量を測定したところ、pLCDaseを導入した細胞では、導入していないコントロール細胞に比べて、セラミド量が有意に減少していることが確認された。

#### 実施例 6 マウス脳からのセラミダーゼ遺伝子のクローニング

アンピシリン $1\ 0\ 0\ \mu$ g/m 1 を含む LB 寒天培地プレートにニトロセルロース膜(Schleicher&Schuell社、PROTRAN BA85 0.45 mmを直径 82 mmで使用)をのせ、そのプレート 1 枚当たり約 $2\ 0$  万コロニーになるように  $1\ 0$  枚のプレートにマウス脳 cDNA ライブラリー(LIFE TECHNOLOGIES 社・SUPERSCRIPT Mouse Brain cDNA Library)を播種し、37℃で  $1\ 0$  時間培養した。ニトロセルロースメンブレン上に生えた大腸菌をナイロン膜(PALL Gelman Laboratory社・バイオダインA 直径 82 mm(1.2 mm))に写し取り、それぞれアンピシリンプレートにのせた後、37℃で 3 時間培養した。ニトロセルロースメンブレンは、マスターフィルターとして 4℃で保存し、ナイロン膜はクロラムフェニコール・プレートにのせ 37℃で 10 に写し取り、それぞれアンピシリンプレートにのせ 10 で保存し、ナイロン膜はクロラムフェニコール・プレートにのせ 10 で 10

ニーを写し取り、各組のナイロンを重ねたまま1mlの変性液(0.5M Na OH/1. 5M NaCl)で、表と裏それぞれ5分間処理した。同様にlml の中和液 [0.5M Tris-HC1 (pH7.4) / 1.5M NaC1) で5分間処理した。ナイロン膜を離し、風乾後80℃で2時間ベーキングした。 その後、200mlの予洗液〔5×SSC/0.5% SDS/1ml A(pH8.0)〕で10分間振とうし、大腸菌被砕片をふき取り、2×SSCで 洗浄した。40mlのハイブリダーゼーション液〔0.5M チャーチリン酸/ 7% SDS/1mM EDTA)で、65℃で2時間プレハイブリダイゼーシ ョンを行なった後、変性後のプローブを含む40mlのハイブリダイゼーション 液中で、65℃で16時間ハイブリダイゼーションを行なった。プローブとして 、マウスセラミダーゼ遺伝子を含むプラスミドpAPLCDの EcoRI-EcoRI断片 2. 7 k b p を使用した。ハイブリダイゼーション終了後100mlの洗浄液( 40 mM チャーチリン酸/1% SDS)で65℃、15分間の洗浄を2回行 なった。さらに100m1のHigh stringent 洗浄液(0.2×SSC/0.1 % SDS)で65℃、15分間洗浄した。膜を風乾後、1時間IP-plateに暴露 し、 BAS 1500 で解析を行なった。ポジティブ部分のニトロセルロースメンブレ ンを直径約6mmに切りだし、1m1のLB培地に懸濁後、4000倍に希釈し たサンプル200mlをアンピシリン入りLBプレートにまき、2nd スクリーニン グを行なった。

同様にポジティブ部分を10000倍に希釈したサンプル200m1をアンピシリン入りLBプレートにまき、ライブラリーを作製し、このライブラリーを用いて3rd スクリーニングを行なった。単離されたクローン(pSBCD)はサブクローニングした後、定法に従って塩基配列を決定した。その配列を配列番号:16に示す。

前記配列中には、実施例4に記載のマウス肝臓由来のセラミダーゼ遺伝子と同一の配列を有するORFが見出された。なお、5′非翻訳領域及び3′非翻訳領

域の配列は、マウス肝臓由来のものとは異なっていた。また、単離されたプラスミドpSBCDを実施例5と同様にCHO細胞に導入したところ、該細胞においてセラミダーゼが発現されていることが確認された。

#### 実施例7 ヒトのセラミダーゼ遺伝子のゲノムクローニング

実施例4で決定したマウス肝臓由来セラミダーゼ遺伝子の配列に基づき、配列表の配列番号:17に示す配列を有するセンスプライマーU1107及び配列表の配列番号:18に示す配列を有するアンチセンスプライマーL1311を合成した。U1107プライマーの配列は、配列表の配列番号:12の塩基番号:1107~1130の配列に相当し、L1311プライマーの配列は、配列番号:12の塩基番号:1311~1334の配列に相補的な塩基配列に相当する。

ヒト肝臓癌細胞Huh7からゲノムDNAを常法により精製した。得られたゲ ノムDNA625ngを鋳型にU1107プライマー及びL1311プライマー を用いてPCRを行なった。PCRは、94℃、9分の後、94℃、0.5分~ 55℃、0.5分~72℃、3分を1サイクルとする40サイクルを行ない、さ らに72℃で7分保温する反応を行なった。ついで、得られた反応物をアガロー スゲル電気泳動に供した結果、このPCRにより、約2kbpのDNA断片が増 幅されたことが確認された。

このDNA断片をSephaglas(ファルマシア社製)を用いて、ゲルから回収し、得られた断片をpGEM-T easyベクター(プロメガ社製)に組込み、組換えプラスミドを構築した。ついで、得られたプラスミドの挿入DNA断片の塩基配列を決定した。前記配列は、GenBankのデータベースの登録されているAccession NO. AC012131 Complementの96289~98478に相当する配列であった。また、前記配列にコードされるアミノ酸配列の解析を行なったところ、配列表の配列番号:4で示されるマウス肝臓由来セラミダーゼアミノ酸配列のアミノ酸番号:370~444の

領域との相同性を示すアミノ酸配列をコードする領域が見出された。

なお、AC012131は、実施例4で決定されたマウス肝臓由来セラミダー ゼ遺伝子とも相同性を有する。

### 配列表フリーテキスト

配列番号:1に示す配列において、アミノ酸番号:7、9及び13のXaaは不明のアミノ酸を示す。

配列番号:4は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。前記配列中、塩基番号:6、9及び15のnは、G、A、T又はCを示す。

配列番号:5は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。前記配列中、塩基番号:3、6及び15のnは、G、A、T又はCを示す。

配列番号:7は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。

配列番号:8は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。

配列番号: 9は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。

配列番号:10は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。

配列番号:11は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。

配列番号:17は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。

配列番号:18は、プライマー用の合成オリゴヌクレオチドの配列である。

### 産業上の利用可能性

本発明により、哺乳類由来の中性・アルカリ性セラミダーゼをコードする遺伝子が提供され、また、該遺伝子を用いるセラミダーゼの遺伝子工学的な製造方法が提供される。また、本発明のオリゴヌクレオチドプローブ及びプライマーは、前記遺伝子の検出に有用であり、生体内におけるセラミド代謝研究などに応用されうる。さらに、本発明により、本発明の遺伝子のアンチセンス核酸(DNA、RNA)が提供される。かかる遺伝子およびそのアンチセンス核酸は、生体内に

おけるセラミダーゼ活性の制御、セラミド代謝系の調節に有用であり、セラミド量の異常に起因する疾患の治療などへの応用が可能なセラミド量の調節方法が提供される。

#### 請求の範囲

- 1. (A)配列表の配列番号:14に記載のアミノ酸配列又はその一部を有してなるポリペプチドであって、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸;
- (B) 配列表の配列番号:15に記載の塩基配列又はその一部を有する核酸であって、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸;
- (C) 配列表の配列番号:14に記載のアミノ酸配列において、少なくとも1つのアミノ酸残基の欠失、付加、挿入又は置換を有するアミノ酸配列からなり、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸;
- (D) 配列表の配列番号:15に記載の塩基配列において、少なくとも1つの 塩基の欠失、付加、挿入又は置換を有する塩基配列からなり、かつセラミダーゼ 活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸;並びに
- (E) 前記(A)~(D)いずれか記載の核酸の相補鎖とストリンジェントな条件下にハイブリダイズしうる核酸であって、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸、
- (F) 縮重を介して、前記(A)~(E)いずれか記載の核酸とは異なる塩基配列を有する核酸であって、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードしてなる核酸、

からなる群より選択された核酸の塩基配列を有する遺伝子。

- 2. ポリペプチドのセラミダーゼ活性が、下記ステップ:
- (a) 遺伝子の発現産物を、反応混合液〔組成:20 μl の25 mMトリス塩酸 緩衝液 (p H 7.5) 中、550 pmolのC12-NBD-セラミド、及び1.0% (W/V) コール酸ナトリウム) 中、37℃で30分間インキュベートして 反応させるステップ、並びに

(b)得られた反応物について、C12-NBD-脂肪酸の生成を検出するステップ、

により検出されうる、請求項1記載の遺伝子。

- 3. ポリペプチドが、少なくとも下記性質:
- (i) 作用:セラミドを加水分解しスフィンゴイドと脂肪酸とを生成する;
- (ii)基質特異性: N-アシルスフィンゴシンを加水分解する; ガラクトシルセラミド、スルファチド、GM1a、スフィンゴミエリンには作用しない;
- (iii) 至適pH:7.0~8.0である;
- (iv) 0.1% ポリドカノール (polidocanol)を含む 20 mMトリスー塩酸 (pH7.5) 緩衝液中、37  $\mathbb{C}$ 、24 時間処理した場合には活性の低下は見られないが、60  $\mathbb{C}$ 、1 時間の処理により処理前の活性の約 30 %に活性が低下する;を呈する、請求項 1 又は 2 記載の遺伝子。
- 4. 請求項1~3いずれか記載の遺伝子を含有してなる組換えDNA。
- 5. 請求項1~3いずれか記載の遺伝子又は請求項4記載の組換えDNAを含有してなる、微生物、動物細胞又は植物細胞用発現ベクター。
- 6. 請求項5記載の発現ベクターを保持してなる形質転換体。
- 7. セラミダーゼ遺伝子が発現され、かつ該遺伝子にコードされたポリペプチドの生産に適する条件下に、請求項 6 記載の形質転換体を培養し、得られた培養物からセラミダーゼ活性を有するポリペプチドを採取することを特徴とする、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドの製造方法。

8. 配列表の配列番号: 14に記載のアミノ酸配列又はその一部を有してなるポリペプチドであって、かつセラミダーゼ活性を有するポリペプチド。

- 9. 請求項1~3いずれか記載の遺伝子によりコードされてなる、セラミダー ゼ活性を有するポリペプチド。
- 10. セラミダーゼ活性が、下記ステップ:
- (a) 遺伝子の発現産物を、反応混合液〔組成:20 μl の25 mMトリス塩酸 緩衝液 (p H 7. 5) 中、550 pmolのC12-NBD-セラミド、及び1. 0 % (W/V) コール酸ナトリウム) 中、37℃で30分間インキュベートして 反応させるステップ、並びに
- (b) 得られた反応物について、C12-NBD-脂肪酸の生成を検出するステップ、

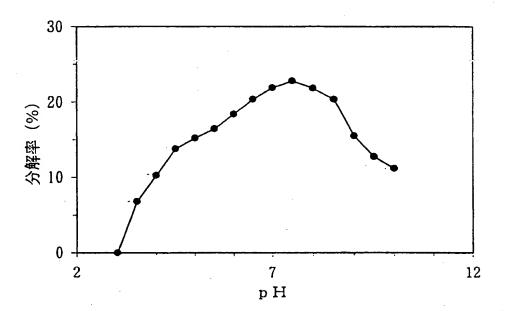
により、検出されうる、請求項8又は9記載のポリペプチド。

- 11. 請求項1~3いずれか記載の遺伝子又はその一部に相補的なアンチセンスDNA。
- 12. 請求項1~3いずれか記載の遺伝子又はその一部に相補的なアンチセンスRNA。
- 13. 請求項11記載のアンチセンスDNAを含有してなる発現ベクター。
- 14. 請求項1~3いずれか記載の遺伝子又はその相補鎖に特異的にハイブリダイズしうるオリゴヌクレオチドプロープ又はプライマー。

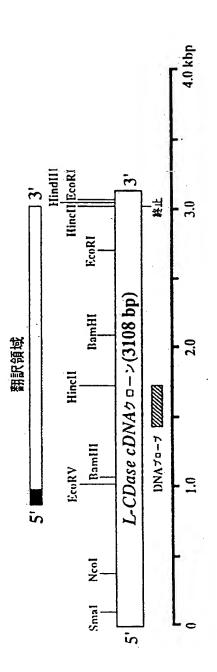
15. 請求項8~10いずれか記載のポリペプチドに特異的に結合しうる抗体 又はその断片。

- 16. 請求項14記載のオリゴヌクレオチドプロープ及び/又はプライマーを使用する、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードする遺伝子の検出方法。
- 17. 請求項14記載のオリゴヌクレオチドプロープ及び/又はプライマーを 含有してなる、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドをコードする遺伝子の検 出に用いるためのキット。
- 18. 請求項15記載の抗体又はその断片を使用する、セラミダーゼ活性を有するポリペプチドの検出方法。
- 19. 請求項15記載の抗体又はその断片を含有してなるセラミダーゼ活性を有するポリペプチドの検出に用いるためのキット。
- 20. 請求項1~3いずれか記載の遺伝子又はそのアンチセンス核酸を細胞及び/又は組織に導入し、それにより細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量を調節することを特徴とする、細胞内及び/又は組織内におけるセラミド量の調節方法。

# 第 1 図



## 第 2 図



## SEQUENCE LISTING

<110> Takara Shuzo Co., Ltd.

<120> A gene encoding ceramidase

<130> 00-011-PCT

<140> JP 11/84743

<141> 1999-3-26

<160> 18

<210> 1

<211> 21

<212> PRT

<213> Mouse

<220>

⟨222⟩ 7. 9, 13

<223> Xaa is an unknown amino acid.

<400> 1

Phe Ser Gly Tyr Tyr Ile Xaa Val Xaa Arg Ala Asp Xaa Thr Gly

1

5

10

15

Lys Val Asn Asp Ile Asn

20

<210> 2

<211> 10

<212> PRT

<213> Mouse

<220>

<222> 9

<223> Xaa is an unknown amino acid.

<400> 2

Ala Ile Ala Thr Asp Thr Val Ala Xaa Met

1

5

10

<210> 3

<211> 35

<212> PRT

<213> Mouse

<220>

<222> 29, 30

<223> Xaa is an unknown amino acid.

<400> 3

Gly Tyr Leu Pro Gly Gln Gly Pro Phe Val Asn Gly Phe Ala Ser

1

5

10

15

Ser Asn Leu Gly Asp Val Ser Pro Asn Ile Leu Gly Pro Xaa Xaa

20

25

30

Val Asn Thr Gly Glu

35

<210> 4

<211> 17

<212> DNA

<213> Artificial Sequence

<220>

<223> Synthesized oligonucleotide for primer.

<220>

<222≥ 6, 9, 15

<223> "n" is G or A or T or C.

<400> 4

carggncent tygtnge

17

<210> 5

<211> 17

<212> DNA

<213> Artificial Sequence

<220>

<223> Synthesized oligonucleotide for primer.

<220>

⟨222⟩ 3, 6, 15

<223> "n" is G or A or T or C.

<400> 5

ggnccnagda trttngg

<210> 6 <211> 38 <212> DNA <213> Mouse <400> 6 gcaggctttg cttcatcaaa tctcggagac gtgtcacc 38 ⟨210⟩ 7 <211> 19 <212> DNA <213> Artificial Sequence <220> <223> Synthesized oligonucleotide for primer. <400> 7 ttgatgaagc aaagcctgc 19 <210> 8 <211> 19 <212> DNA <213> Artificial Sequence <220>

<400> 8

<223> Synthesized oligonucleotide for primer

WO 00/58448	PCT/JP00/01802
ggtgacacgt ctccgagat	19
<210> 9	
<211> 20	
<212> DNA	
<213> Artificial Sequence	
⟨220⟩	
<pre>&lt;223&gt; Synthesized oligonucleotide for primer</pre>	
<400> 9	
taatacgact cactataggg	20
ZOIAN 10	
<210> 10	
<211> 17 <212> DNA	
<213> Artificial Sequence	
2107 ALTITICIAL Sequence	
<220>	
<pre>&lt;223&gt; Synthesized oligonucleotide for primer</pre>	
,	
< <b>400&gt;</b> 10	
tctgctctaa aagctgc	17
•	
<210> 11	
<211> 3108	
<212> DNA	
<213> Mouse	•

<400> 11

cctgcgccac ttctctctcc cggctcaatc gcggagcctt ttctctcccc cgtctcgccg 60 ctgccgccat ctccacccct gcctgcccca ggggtctgtg gacgcccggg cagagagcaa 120 gcaccgagct gggcctgctg gagaccggag accagcggcc cgcccgcccg cccgctgcga 180 gcctcctgag cagctccgga acagcttact ttctgtttcc atctctttcg gaccgggttg 240 gcctctccaa aagccacttc tcctaactct tatcaaggtt caaaggctaa aggtctgtac 300 acatgagtgc tggtgtgctt agaggcatcg ggtccctttc agctggagtt gcagtacttg 360 tgagtgccat ggaatccaaa ttcggcaaga gatacaatct aaactctcaa ctactccaga 420 ttcaaggttc acctcacttt ctggttacca aaggagcttt gcggggccgc tctgacatcc 480 agtagatttg gaaacacatt gagaaatcag cctgagcaac ctgcaaggca caaggcacaa 540 gattctgcat ggttatttgc tctcccagga ggtgaacact tgttttgatt cacagagtca 600 gggttgagat gcccagttgt tcctcatctt ggctcagaag aagcacctag gaataaaagc 660 tctaagctgg tattaagtag aatgggctta aagtccacta caggaaacaa cagctagtga 720 cagaaatggc aaagcgaacc ttctccacct tggaggcatt cctcattttc cttctggtaa 780 taatgacagt catcacagtg gcccttctca ccctcttgtt tgttaccagt gggaccattg 840 aaaaccacaa agattcagga aatcactggt tttcaaccac tctgggctcc acgacaaccc agccccctcc aattacacag actccaaact tcccttcatt tcggaacttc agtggctact acattggcgt tgggagagcg gattgcacag gacaagtgtc agatatcaat ttgatgggct 1020 atggcaaaaa tggccagaat gcacggggtc tcctcaccag gctgttcagc cgtgctttta 1080 tcttggcgga tccagatggg tcaaatcgaa tggcatttgt gagcgtggaa ctatgtatga 1140 tttcccaacg actgaggttg gaggtcctga agagactaga gagtaaatat ggctctctgt 1200 atcgaagaga caatgttatc ctgagtgcca ttcacacaca ctctggccca gcagggtttt 1260 tccaatatac actitatata ctcgccagcg agggattcag caaccggacc tttcagtaca 1320 tagtctctgg gatcatgaag agcattgata tagctcacac aaatcttaaa ccaggcaaaa 1380 tetttateaa caaaggaaat giigetaaig igeagaicaa eegaageeee teetettaee 1440 ttctgaatcc acagtcagag agagcaaggt attcttcaaa cacagacaag gaaatgctgg 1500 tcttgaaact ggtggatttg aatggagaag acttgggtct tatcagctgg tttgccatcc 1620 accccgtgag catgaacaat agcaaccact ttgtgaatag tgacaatatg ggctatgcgg 1620 cttacctttt tgagcaagaa aagaacaaag gctatctgcc tggacaggga ccgtttgtag 1680

caggettige ticateaaat eteggagaeg tgteaceeaa cattetigge eegcattgtg 1740 tcaacacagg ggagtcttgt gacaacgaca agagcacctg tcccaacggt gggcctagca 1800 tgtgcatggc cagcggacct ggacaagaca tgtttgagag cacacacatt ataggacgga 1860 tcatctatca gaaggccaag gagctgtatg cctctgcctc ccaggaggtg accggcccag 1920 tgcttgcagc tcaccagtgg gtgaacatga cagatgtgag cgtccagctc aatgccacac 1980 acacagtgaa gacgtgtaaa cctgccctgg gctacagttt tgccgcaggc acaattgatg 2040 gagtttcggg cctcaatatt acacagggaa ctacggaagg ggatccattc tgggacactc 2100 ttcgggacca gctcttggga aaaccatctg aagagattgt agagtgtcag aaacccaaac 2160 caatcctgct tcacagtgga gagctgacga taccacatcc ttggcaacca gatattgttg 2220 atgttcagat tgttaccgtt gggtccttgg ccatagetgc tateectggg gaattaacaa 2280 ccatgtcggg acgaagattt cgtgaggcaa ttaaaaaaaga atttgcactt tatgggatga 2340 aggatatgac cgitgitatc gcaggictaa gcaaigitta tacacattac attaccacat 2400 atgaagaata ccaggctcag cggtacgagg cagcatctac aatctatgga ccacacaccc 2460 tgtctgcata catccaactc ttcagagacc ttgctaaggc aattgctacg gacacagtag 2520 ccaacatgag cagtggtccc gagcctccat tcttcaaaaa tctaatagct tcacttattc 2580 ctaatattgc ggatagagca ccaattggca aacattttgg ggatgtcttg cagccagcaa 2640 aacctgaata cagagtggga gaagtggttg aagttatatt tgtaggcgct aacccaaaga 2700 attcagcaga gaaccagacc catcaaacct tcctcactgt ggagaaatac gaggactctg 2760 tagctgactg gcagataatg tataacgatg cctcctggga gacgaggttt tattggcaca 2820 aaggaatact gggtctgagc aatgcaacaa tatactggca tattccagat actgcctacc 2880 ctggaatcta cagaataaga tattttggac acaatcggaa gcaggaactt ctgaaacccg 2940 ctgtcatact agcatttgaa ggaatttctt ctccttttga agttgtcact acttagtgaa 3000 aagttgacag atattgaaga aaagcttttc tctgtgcaca ttatagagtg aattcacaaa 3060 3108

<210> 12

(211> 2271

<212> DNA

<213> Mouse

<400> 12

atggcaaagc gaaccttctc caccttggag gcattcctca ttttccttct ggtaataatg 60 acagtcatca cagtggccct tctcaccctc ttgtttgtta ccagtgggac cattgaaaac 120 cacaaagatt caggaaatca ctggttttca accactctgg gctccacgac aacccagccc 180 cctccaatta cacagactcc aaacttccct tcatttcgga acttcagtgg ctactacatt 240 ggcgttggga gagcggattg cacaggacaa gtgtcagata tcaatttgat gggctatggc 300 aaaaatggcc agaatgcacg gggtctcctc accaggctgt tcagccgtgc ttttatcttg 360 gcggatccag atgggtcaaa tcgaatggca tttgtgagcg tggaactatg tatgatttcc 420 caacgactga ggttggaggt cctgaagaga ctagagagta aatatggctc tctgtatcga 480 agagacaatg ttatcctgag tgccattcac acacactctg gcccagcagg gtttttccaa 540 tatacactct atatactcgc cagcgaggga ttcagcaacc ggacctttca gtacatagtc 600 tctgggatca tgaagagcat tgatatagct cacacaaatc ttaaaccagg caaaatcttt 660 atcaacaaag gaaatgttgc taatgtgcag atcaaccgaa gcccctcctc ttaccttctg 720 aatccacagt cagagagagc aaggtattct tcaaacacag acaaggaaat gctggtcttg 780 aaactggtgg atttgaatgg agaagacttg ggtcttatca gctggtttgc catccacccc 840 gtgagcatga acaatagcaa ccactttgtg aatagtgaca atatgggcta tgcggcttac 900 ctttttgagc aagaaaagaa caaaggctat ctgcctggac agggaccgtt tgtagcaggc tttgcttcat caaatctcgg agacgtgtca cccaacattc ttggcccgca ttgtgtcaac 1020 acaggggagt cttgtgacaa cgacaagagc acctgtccca acggtgggcc tagcatgtgc 1080 atggccagcg gacctggaca agacatgttt gagagcacac acattatagg acggatcatc 1140 tatcagaagg ccaaggagct gtatgcctct gcctcccagg aggtgaccgg cccagtgctt 1200 gcagctcacc agtgggtgaa catgacagat gtgagcgtcc agctcaatgc cacacacaca 1260 gtgaagacgt gtaaacctgc cctgggctac agttttgccg caggcacaat tgatggagtt 1320 tcgggcctca atattacaca gggaactacg gaaggggatc cattctggga cactcttcgg 1380 gaccagetet tgggaaaacc atetgaagag attgtagagt gtcagaaacc caaaccaate 1440 ctgcttcaca gtggagagct gacgatacca catccttggc aaccagatat tgttgatgtt 1500 cagattgtta ccgttgggtc cttggccata gctgctatcc ctggggaatt aacaaccatg 1620 tegggaegaa gatttegtga ggcaattaaa aaagaatttg caetttatgg gatgaaggat 1620

<210> 13

<211> 756

<212> PRT

<213> Mouse

<400> 13

Met Ala Lys Arg Thr Phe Ser Thr Leu Glu Ala Phe Leu Ile Phe 1 5 10 15 Leu Leu Val Ile Met Thr Val Ile Thr Val Ala Leu Leu Thr Leu 20 25 30 Leu Phe Val Thr Ser Gly Thr Ile Glu Asn His Lys Asp Ser Gly 35 40 45 Asn His Trp Phe Ser Thr Thr Leu Gly Ser Thr Thr Thr Gln Pro 50 55 60 Pro Pro Ile Thr Gln Thr Pro Asn Phe Pro Ser Phe Arg Asn Phe

Ser Gly Tyr Tyr Ile Gly Val Gly Arg Ala Asp Cys Thr Gly Gln

70

65

				80	)				85	<u>;</u>				90
Val	Ser	- As	p Ile	Asr	ı Lei	ı Met	Gly	Tyr	Gly	' Lys	Asn	Gly	Glr	ı Ası
				95	5				100	)				105
Ala	. Arg	Gl	y Leu	Leu	Thr	Arg	Leu	Phe	Ser	Arg	Ala	Phe	lle	Leu
				110	)				115	i				120
Ala	. Asp	Pro	o Asp	Gly	Ser	Asn	Arg	Met	Ala	Phe	Val	Ser	Val	Glu
				125	· •				130					135
Leu	Cys	Met	t Ile	Ser	Gln	Arg	Leu	Arg	Leu	Glu	Val	Leu	Lys	Arg
				140					145					150
Leu	Glu	Ser	Lys	Tyr	Gly	Ser	Leu	Tyr	Arg	Arg	Asp	Asn	Va.l	He
				155					160					165
Leu	Ser	Ala	lle	His	Thr	His	Ser	Gly	Pro	Ala	Gly	Phe	Phe	Gln
				170					175					180
Tyr	Thr	Leu	Tyr	He	Leu	Ala	Ser	Glu	Gly	Phe	Ser	Asn	Arg	Thr
				185					190					195
Phe	Gln	Туг	lle	Val	Ser	Gly	Ile	Met	Lys	Ser	Ile	Asp	He	Ala
				200				•	205					210
His	Thr	Asn	Leu	Lys	Pro	Gly	Lys	He	Phe	He	Asn	Lys	Gly	Asn
				215					220					225
Val	Ala	Asn	Val	Gln	lle	Asn	Arg	Ser	Pro	Ser	Ser	Tyr	Leu	Leu
				230					235					240
Asn	Pro	Gln	Ser	Glu	Arg	Ala	Arg	Tyr	Ser	Ser	Asn	Thr	Asp	Lys
				245					250					255
Glu	Met	Leu	Val	Leu	Lys	Leu	Val	Asp	Leu	Asn	Gly	Glu	Asp	Leu
				260					265					270
Gly	Leu	He	Ser	Trp	Phe	Ala	He	His	Pro	Val	Ser	Met	Asn	Asn
				275					280					285
Ser	Asn	His	Phe	Val	Asn	Ser	Asp	Asn	Met	Gly	Tyr	Ala	Ala	Tyr
				290					295					300

Leu	Phe	Glu	Gln	Glu	ı Lys	Asn	Lys	Gly	Tyr	Leu	Pro	Gly	Gln	Gl
				305	j				310	)				315
Pro	Phe	Val	Ala	Gly	Phe	Ala	Ser	Ser	Asn	Leu	Gly	Asp	Val	Sei
				320	1				325					330
Pro	Asn	lle	Leu	Gly	Pro	His	Cys	Val	Asn	Thr	Gly	Glu	Ser	Cys
				335	١				340					345
Asp	Asn	Asp	Lys	Ser	Thr	Cys	Pro	Asn	Gly	Gly	Pro	Ser	Met	Cys
				350	ı				355					360
Met	Ala	Ser	Gly	Pro	Gly	Gln	Asp	Met	Phe	Glu	Ser	Thr	His	Πe
				365					370					375
He	Gly	Arg	lle	He	Tyr	Gln	Lys	Ala	Lys	Glu	Leu	Tyr	Ala	Ser
				380					385					390
Ala	Ser	Gln	Glu	Val	Thr	Gly	Pro	Val	Leu	Ala	Ala	His	Gln	Trp
				395					400					405
Val	Asn	Met	Thr	Asp	Val	Ser	Val	Gln	Leu	Asn	Ala	Thr	His	Thr
				410					415					420
Val	Lys	Thr	Cys	Lys	Pro	Ala	Leu	Gly	Tyr	Ser	Phe	Ala	Ala	Gly
				425					430					435
Thr	lle	Asp	Gly	Val	Ser	Gly	Leu	Asn	lle	Thr	Gln	Gly	Thr	Thr
				440					445					450
Glu	Gly	Asp	Pro	Phe	Trp	Asp	Thr	Leu	Arg	Asp	Gln	Leu	Leu	Gly
				455					460					465
Lys	Pro	Ser	Glu	Glu	He	Val	Glu	Cys	Gln	Lys	Pro	Lys	Pro	He
				470					475					480
Leu	Leu	His	Ser	Gly	Glu	Leu	Thr	lle	Pro	His	Pro	Trp	Gln	Pro
				485					490					495
Asp	He	Val	Asp	Val	Gln	lle	Val	Thr	Val	Gly	Ser	Leu	Ala	He
				500					505		·			510
Ala	Ala	lle	Pro	Gly	Glu	Leu	Thr	Thr	Met	Ser	Gly	Arg	Arg	Phe

				515	•				520	ı				525
Are	g Glu	ı Ala	lle	Lys	Lys	s Glu	Phe	Ala	Leu	Tyr	Gly	Met	Lys	Asp
				530					535					540
Met	Thr	- Val	Val	Ile	Ala	Gly	Leu	Ser	Asn	Val	Tyr	Thr	His	Tyr
				545					550					555
lle	Thr	Thr	Туг	Glu	Glu	Tyr	Gln	Ala	Gln	Arg	Tyr	Glu	Ala	Ala
				560					565					570
Ser	Thr	lle	Tyr	Gly	Pro	His	Thr	Leu	Ser	Ala	Tyr	Ile	Gln	Leu
				575					580					585
Phe	Arg	-Asp	Leu	Ala	Lys	Ala	He	Ala	Thr	Asp	Thr	Val	Ala	Asn
				590					595					600
Met	Ser	Ser	Gly	Pro	Glu	Pro	Pro	Phe	Phe	Lys	Asn	Leu	Ile	Ala
				605					610		,			615
Ser	Leu	lle	Pro	Asn	Ile	Ala	Asp	Arg	Ala	Pro	He	Gly	Lys	His
				620				•	625					630
Phe	Gly	Asp	Val	Leu	Gln	Pro	Ala	Lys	Pro	Glu	Tyr	Arg	Val	Gly
				635					640					645
Glu	Val	Val	Glu	Val	lle	Phe	Val	Gly	Ala	Asn	Pro	Lys	Asn	Ser
				650					655					660
Ala	Glu	Asn	Gln	Thr	His	Gln	Thr	Phe	Leu	Thr	Val	Glu	Lys	Tyr
				665					670					675
Glu	Asp	Ser	Val	Ala	Asp	Trp	Gln	lle	Met	Tyr	Asn	Asp	Ala	Ser
				680					685					690
Trp	Glu	Thr	Arg	Phe	Tyr	Trp	His	Lys	Gly	He	Leu	Gly	Leu	Ser
				695					700					705
Asn	Ala	Thr	lle	Tyr	Trp	His	He	Pro	Asp	Thr	Ala	Tyr	Pro	Gly
				710					715	. •				720
lle	Tyr	Arg	lle.	Arg	Tyr	Phe	Gly	His	Asn .	Arg	Lys	Gln	Glu	Leu
				725	•				730					735

Leu Lys Pro Ala Val IIe Leu Ala Phe Glu Gly IIe Ser Ser Pro
740 745 750

Phe Glu Val Val Thr Thr

755

95

110

<210> 14

<211> 682

<212> PRT

<213> Mouse

<400> 14 Phe Ser Gly Tyr Tyr Ile Gly Val Gly Arg Ala Asp Cys Thr Gly 1 5 10 Gln Val Ser Asp Ile Asn Leu Met Gly Tyr Gly Lys Asn Gly Gln 20 25 Asn Ala Arg Gly Leu Leu Thr Arg Leu Phe Ser Arg Ala Phe Ile 35 40 Leu Ala Asp Pro Asp Gly Ser Asn Arg Met Ala Phe Val Ser Val 50 55 60 Glu Leu Cys Met Ile Ser Gln Arg Leu Arg Leu Glu Val Leu Lys 65 70 75 Arg Leu Glu Ser Lys Tyr Gly Ser Leu Tyr Arg Arg Asp Asn Val 80 85 90 Ile Leu Ser Ala Ile His Thr His Ser Gly Pro Ala Gly Phe Phe

Thr Phe Gln Tyr Ile Val Ser Gly Ile Met Lys Ser Ile Asp Ile

Gln Tyr Thr Leu Tyr Ile Leu Ala Ser Glu Gly Phe Ser Asn Arg

125 130 135

115

100

105

Ala	His	Th	ASI	i Lei	u Ly:	s Pro	Gly	/ Lys	s Ile	e Phe	lle	Asn	Lys	Gly
				140	)				145	5				150
Asn	Val	Ala	Asr	l Val	l Gli	n Ile	e Asn	ı Arg	g Ser	Pro	Ser	Ser	Tyr	Leu
				155	5				160	)				165
Leu	Asn	Pro	Gln	Ser	Glu	ı Arg	, Ala	. Arg	y Tyr	Ser	Ser	Asn	Thr	Asp
				170	)				175	;				180
Lys	Glu	Met	Leu	Val	Leu	ı Lys	Leu	-Val	Asp	Leu	Asn	Gly	Glu	Asp
				185	5				190	•				195
Leu	Gly	Leu	Ile	Ser	Trp	Phe	Ala	lle	His	Pro	Val	Ser	Met	Asn
				200	)				205					210
Asn	Ser	Asn	His	Phe	· Val	Asn	Ser	Asp	Asn	Met	Gly	Tyr	Ala	Ala
				215	,				220					225
Tyr	Leu	Phe	Glu	Gln	Glu	Lys	Asn	Lys	Gly	Tyr	Leu	Pro	Gly	Gln
				230	)				235					240
Gly	Pro	Phe	Val	Ala	Gly	Phe	Ala	Ser	Ser	Asn	Leu	Gly	Asp	Val
				245					250					255
Ser	Pro	Asn	lle	Leu	Gly	Pro	His	Cys	Val	Asn	Thr	Gly	Glu	Ser
				260					265					270
Cys	Asp	Asn	Asp	Lys	Ser	Thr	Cys	Pro	Asn	Gly	Gly	Pro	Ser	Met
			٠	275					280					285
Cys	Met	Ala	Ser	Gly	Pro	Gly	Gln	Asp	Met	Phe	Glu	Ser	Thr	His
				290					295					300
He	lle	Gly	Arg	lle	lle	Tyr	Gln	Lys	Ala	Lys	Glu	Leu	Tyr	Ala
				305					310					315
Ser	Ala	Ser	Gln	Glu	Val	Thr	Gly	Pro	Val	Leu	Ala	Ala	His	Gln
				320					325					330
Trp	Val	Asn	Met	Thr	Asp	Val	Ser	Val	Gln	Leu	Asn	Ala	Thr	His
				335					340					345
Thr	Val	Lys	Thr	Cys	Lys	Pro	Ala	Leu	Gly	Tyr	Ser	Phe	Ala	Ala

				350	)				355	<u>,</u>				360
Gly	Thi	r IIe	e Asp	Gly	'Val	Ser	Gly	/ Lei	ı Asn	He	Thr	Gln	Gly	'Thr
				365	j				370	)				375
Thr	Gli	ı Gly	/ Asp	Pro	Phe	Trp	Asp	Thr	Leu	Arg	Asp	Gln	Leu	Leu
				380	)				385					390
Gly	Lys	Pro	Ser	Glu	Glu	lle	Val	Glu	ı Cys	Gln	Lys	Pro	Lys	Pro
				395					400					405
He	Leu	Leu	His	Ser	Gly	Glu	Leu	Thr	lle	Pro	His	Pro	Trp	Gln
				410					415					420
Pro	Asp	Lle	Val	Asp	Val	Gln	IJę	Val	Thr	Va.l	Gly	Ser	Leu	Ala
				425					430					435
Ile	Ala	Ala	lle	Pro	Gly	Glu	Leu	Thr	Thr	Met	Ser	Gly	Arg	Arg
				440					445					450
Phe	Arg	Glu	Ala	lle	Lys	Lys	Glu	Phe	Ala	Leu	Tyr	Gly	Met	Lys
				455					460					465
Asp	Met	Thr	Val		lle	Ala	Gly	Leu	Ser	Asn	Val	Tyr	Thr	His
_	•	_		470					475					480
Tyr	He	Thr	Thr		Glu	Glu	Tyr	Gln	Ala	Gln	Arg	Tyr	Glu	Ala
		_		485					490					495
Ala	Ser	Thr	lle		Gly	Pro	His	Thr	Leu	Ser	Ala	Tyr	lle	Gln
	Di			500					505					510
Leu	Phe	Arg	Asp		Ala	Lys	Ala	Ile	Ala	Thr	Asp	Thr	Val	Ala
۸	1/	٥.	0	515	<b>D</b>	01			520	<b>5.</b>				525
ASN	met	Ser			Pro	Glu	Pro	Pro	Phe	Phe	Lys	Asn	Leu	
41-	0			530					535		_			540
Ala	5er	Leu			ASN	He	Ala	Asp	Arg	Ala	Pro	He		
u: ~	Dh.a	C1		545 Val	1 -	<b>C1</b>	n	4.1	550	D	01			555
піЅ	rne	υIλ			Leu	GIN	Pro	Ala	Lys	۲ro	Glu	lyr		
				560					565					570

Gly Glu Val Val Glu Val Ile Phe Val Gly Ala Asn Pro Lys Asn 575 580 585 Ser Ala Glu Asn Gln Thr His Gln Thr Phe Leu Thr Val Glu Lys 590 595 Tyr Glu Asp Ser Val Ala Asp Trp Gln Ile Met Tyr Asn Asp Ala 605 610 615 Ser Trp Glu Thr Arg Phe Tyr Trp His Lys Gly Ile Leu Gly Leu 620 625 630 Ser Asn Ala Thr Ile Tyr Trp His Ile Pro Asp Thr Ala Tyr Pro 635 640 645 Gly Ile Tyr Arg Ile Arg Tyr Phe Gly His Asn Arg Lys Gln Glu 650 655 660 Leu Leu Lys Pro Ala Val Ile Leu Ala Phe Glu Gly Ile Ser Ser 665 670 675

Pro Phe Glu Val Val Thr Thr

680

<210> 15

<211> 2049

<212> DNA

<213> Mouse

<400> 15

ttcagtggct actacattgg cgttgggaga gcggattgca caggacaagt gtcagatatc 60
aatttgatgg gctatggcaa aaatggccag aatgcacggg gtctcctcac caggctgttc 120
agccgtgctt ttatcttggc ggatccagat gggtcaaatc gaatggcatt tgtgagcgtg 180
gaactatgta tgatttccca acgactgagg ttggaggtcc tgaagagact agagagtaaa 240
tatggctctc tgtatcgaag agacaatgtt atcctgagtg ccattcacac acactctggc 300
ccagcagggt ttttccaata tacactctat atactcgcca gcgagggatt cagcaaccgg 360

acctttcagt acatagtctc tgggatcatg aagagcattg atatagctca cacaaatctt aaaccaggca aaatctttat caacaaagga aatgttgcta atgtgcagat caaccgaagc ccctcctctt accttctgaa tccacagtca gagagagcaa ggtattcttc aaacacagac 540 aaggaaatgc tggtcttgaa actggtggat ttgaatggag aagacttggg tcttatcagc 600 tggtttgcca tccaccccgt gagcatgaac aatagcaacc actttgtgaa tagtgacaat 660 atgggctatg cggcttacct ttttgagcaa gaaaagaaca aaggctatct gcctggacag 720 ggaccgtttg tagcaggctt tgcttcatca aatctcggag acgtgtcacc caacattctt 780 ggcccgcatt gtgtcaacac aggggagtct tgtgacaacg acaagagcac ctgtcccaac 840 ggtgggccta gcatgtgcat ggccagcgga cctggacaag acatgtttga gagcacacac 900 attataggac ggatcatcta tcagaaggcc aaggagctgt atgcctctgc ctcccaggag 960 gtgaccggcc cagtgcttgc agctcaccag tgggtgaaca tgacagatgt gagcgtccag 1020 ctcaatgcca cacacagt gaagacgtgt aaacctgccc tgggctacag ttttgccgca 1080 ggcacaattg atggagtttc gggcctcaat attacacagg gaactacgga aggggatcca 1140 ttctgggaca ctcttcggga ccagctcttg ggaaaaccat ctgaagagat tgtagagtgt 1200 cagaaaccca aaccaatcct gcttcacagt ggagagctga cgataccaca tccttggcaa 1260 ccagatattg ttgatgttca gattgttacc gttgggtcct tggccatagc tgctatccct 1320 ggggaattaa caaccatgtc gggacgaaga tttcgtgagg caattaaaaa agaatttgca 1380 ctttatggga tgaaggatat gaccgttgtt atcgcaggtc taagcaatgt ttatacacat 1440 tacattacca catatgaaga ataccaggct cagcggtacg aggcagcatc tacaatctat 1500 ggaccacaca ccctgtctgc atacatccaa ctcttcagag accttgctaa ggcaattgct 1620 acggacacag tagccaacat gagcagtggt cccgagcctc cattcttcaa aaatctaata 1620 gcttcactta ttcctaatat tgcggataga gcaccaattg gcaaacattt tggggatgtc 1680 ttgcagccag caaaacctga atacagagtg ggagaagtgg ttgaagttat atttgtaggc 1740 gctaacccaa agaattcagc agagaaccag acccatcaaa ccttcctcac tgtggagaaa 1800 tacgaggact ctgtagctga ctggcagata atgtataacg atgcctcctg ggagacgagg 1860 ttttattggc acaaaggaat actgggtctg agcaatgcaa caatatactg gcatattcca 1920 gatactgcct accctggaat ctacagaata agatattttg gacacaatcg gaagcaggaa 1980 cttctgaaac ccgctgtcat actagcattt gaaggaattt cttctccttt tgaagttgtc 2040 actacttag 2049



<210> 16

<211> 4835

<212> DNA

<213> Mouse

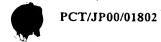
## <400> 16

cctgcagcgg tgttctgaag agccgggcag aggatacaca agcatcccag caggcactct 60 ggtttgcccg tgaacgatag atatgcgggg gtttgaatga gcagctgcag cagcgggttt gggtctgtac acatgagtgc tggtgtgctt agaggcatcg ggtccctttc agctggagtt gcagtacttg tgagtgccat atttggaaac acattgagaa atcagcctga gcaacctgca 240 aggcacaagg cacaagattc tgcatggtta tttgctctcc caggaggtga acacttgttt 300 tgattaacag agtcagggtt gagatgccca gttgttcctc atcttggctc agaagaagca 360 cctaggaata aaagctctaa gctggtatta agtagaatgg gcttaaagtc cactacagga 420 aacaacagct agtgacagaa atggcaaagc gaaccttctc caccttggag gcattcctca 480 ttttccttct ggtaataatg acagtcatca cagtggccct tctcaccctc ttgtttgtta 540 ccagtgggac cattgaaaac cacaaagatt caggaaatca ctggttttca accactctgg 600 getecaegae aacceageee eetecaatta cacagaetee aaactteeet teatttegga 660 acticaging ciactacati ggcgitggga gagcagating cacaggacaa gintagata 720 tcaatttgat gggctatggc aaaaatggcc agaatgcacg gggtctcctc accaggctgt 780 tcagccgtgc ttttatcttg gcggatccag atgggtcaaa tcgaatggca tttgtgagcg 840 tggaactatg tatgatttcc caacgactga ggttggaggt cctgaagaga ctagagagta 900 aatatggctc tctgtatcga agagacaatg ttatcctgag tgccattcac acacactctg 960 gcccagcagg gtttttccaa tatacactct atatactcgc cagcgaggga ttcagcaacc 1020 ggacctttca gtacatagtc tctgggatca tgaagagcat tgatatagct cacacaaatc 1080 ttaaaccagg caaaatcttt atcaacaaag gaaatgttgc taatgtgcag atcaaccgaa 1140 gcccctcctc ttaccttctg aatccacagt cagagagagc aaggtattct tcaaacacag 1200 acaaggaaat gctggtcttg aaactggtgg atttgaatgg agaagacttg ggtcttatca 1260 gctggtttgc catccaccc gtgagcatga acaatagcaa ccactttgtg aatagtgaca 1320



agggaccgtt tgtagcaggc tttgcttcat caaatctcgg agacgtgtca cccaacattc 1440 ttggcccgca ttgtgtcaac acaggggagt cttgtgacaa cgacaagagc acctgtccca 1500 acggtgggcc tagcatgtgc atggccagcg gacctggaca agacatgttt gagagcacac 1560 acattatagg acggatcatc tatcagaagg ccaaggagct gtatgcctct gcctcccagg 1620 aggtgaccgg cccagtgctt gcagctcacc agtgggtgaa catgacagat gtgagcgtcc 1680 ageteaatge cacacacaca gtgaagacgt gtaaacctge cetgggetae agttttgeeg 1740 caggicacaat tgatggagtt tcgggcctca atattacaca gggaactacg gaaggggatc 1800 cattetggga cactettegg gaccagetet tgggaaaace atetgaagag attgtagagt 1860 gtcagaaacc caaaccaatc ctgcttcaca gtggagagct gacgatacca catccttggc 1920 aaccagatat tgttgatgtt cagattgtta ccgttgggtc cttggccata gctgctatcc 1980 ctggggaatt aacaaccatg tcgggacgaa gatttcgtga ggcaattaaa aaagaatttg 2040 cactttatgg gatgaaggat atgaccgttg ttatcgcagg tctaagcaat gtttatacac 2100 attacattac cacatatgaa gaataccagg ctcagcggta cgaggcagca tctacaatct 2160 atggaccaca caccetgtet gcatacatec aactetteag agacettget aaggeaattg 2220 ctacggacac agtagccaac atgagcagtg gtcccgagcc tccattcttc aaaaatctaa 2280 tagcttcact tattcctaat attgcggata gagcaccaat tggcaaacat tttggggatg 2340 tcttgcagcc agcaaaacct gaatacagag tgggagaagt ggttgaagtt atatttgtag 2400 gegetaacce aaagaattea geagagaace agaceeatea aacetteete aetgtggaga 2460 aatacgagga ctctgtagct gactggcaga taatgtataa cgatgcctcc tgggagacga 2520 ggttttattg gcacaaagga atactgggtc tgagcaatgc aacaatatac tggcatattc 2580 cagatactgc ctaccctgga atctacagaa taagatattt tggacacaat cggaagcagg 2640 aacttetgaa accegetgte atactageat tigaaggaat tietteteet titgaagtig 2700 tcactactta gtgaaaagtt gacagatatt gaagaaaagc ttttctctgt gcacattata 2760 gagtgaattc acacaaatgt gaactgccag tttaatttct gtaattgtct ctgtttgggg 2820 gacaggtcat ttattgctaa tgggacagag gtatgtgttt gtgttgttgt atgattatga 2880 gtatgcatgc taacaggaag agaggggag gagggaggag ggagggaaga 2940 aaggaggag agagagtg agagaatgag agagagagtg agagagaaag agttattagt 3000 gagcaagaga atatgagaga agggccactg acaaccaaat accttgtgat ctttatccta 3060

aagcatgatt ttccttgaag ctctgtggtt gtttaagaga taattccctc taatatgaaa 3120 tccctgaaat ataatgacag tatttgaaga tatgtgaata atgtttatcc tatttattta 3180 tagacttact aaatgagaac actagagaac tttctagaag tcctctagaa tgatacttga 3240 ttttacagag aggaaaagga gctttgattc tctttaggtt agaataaggt tagtatattt 3300 ttccctagtc atatttacaa aataccatgt aactttacta caaatatttg agcccagcta 3360 aacaagcata gtccttctga taagtcactt tagaatggat ctgcctggct cagggttatt 3480 gttcatgctc agatcatttc cgcaattacc tccagagtcc aactatgcga atgtcacttg 3540 cagtgctttg atttatgcct tgtattcctc aaagtgtcct tatcctgcta agtcacacct 3600 cttcctccca gcatttactc taaatgattt ttaatgtttt cgccaatcaa atgtacctca 3660 cattacaaag ctttgccttg aatgtagatt tttaaaacaa aagtgttaag gctggaaatg 3720 tagttatcaa agaggaagtt ttaaatgtat ctgttctttt atcagctact ccctccctca 3780 tggctccctt gaatcactga atagttattt aaacccacat atccaatatg gtactcattc 3840 ctgggtcttc acaattacag acatcatatc gaaatgattg ggctgacaat tcctttgaag 3900 gacaaagtaa atatttaatg agaaatatag attctggaga ggcatttgaa aatcacaaat 3960 gttacgcctc catttcctgt tttccaggct gggtgttctg atttgggagg aaagcagccc 4020 caaataattt ttaaatatga atctgaaaat aatgttttag aaattatgat ctcgacagtc 4080 taattaatga gaattgtctg aaagtcctag ctgcatttaa aattatgtaa gttaactaaa 4140 gccaattttt gaaccccagt cataattgtg taggtaggta aaaagagcat tttaggagga 4200 aaccgaactt catttcaaga ctgaatctgt tttaaaagaa caatagtggt aaggtaaatc 4260 ttcatttatt tccctatggt ttacctattt aaacatcgaa gattgaatca aaaggcacct 4320 ggagcatatt tiggtaactc catticccac tiggtagtic tatggatgct aactgctgaa 4380 gaataaactg atcgggattt tcaagggttg tgaacatgtc tcctgatggg aataccgtat 4440 taagtataaa ggttcaaaat agttgatctc aaaactatac acacacaca aatatatata 4500 tatatacaca cacacacatg tacacacaca cacacatgca catacacatg gtattgttta 4560 aaatttattt ctcatgactt agaacaatat aaggattata caaggattca tttcccacca 4620 tcattcctcc cagtgaagct tttctcaaag tctgagtagg agtttctcct ttctcactgg 4680 taactatccc acagtggcca ttacatcact agtaatcggt gtgcccagcc ctgcatggaa 4740 ataaatcaca gaaacataat ttcccagtag acttagtctc ttcaagcctg tgtgcttcta 4800



## gtgtataaaa tctgtaaaaa aaaaaaaaaa aaaaa

4835

<210> 17

<211> 24

<212> DNA

<213> Artificial Sequence

<220>

<223> Synthesized oligonucleotide for primer

<400> 17

gtttgagagc acacacatta tagg

24

<210> 18

<211> 24

<212> DNA

<213> Artificial Sequence

<220>

<223> Synthesized oligonucleotide for primer

<400> 18

atattgaggc ccgaaactcc atca

24